

2012年度

事業報告書

附 一般会計収支決算書

附 (2013年度事業計画)
(2013年度一般会計予算)



一般社団法人 津山青年会議所



一般社団法人 津山青年会議所
第55代理事長 村上 雅人

事業報告書

私たちが暮らす日本は戦後、先人たちのひたむきな努力により奇跡的な復興を果たし、その後、経済は高度成長期を経て1985年から始まったバブル経済により日本の景気は最高潮に達しました。

しかしそのバブル経済も瞬間に崩壊し、経済成長は行き詰まり、2008年からは世界同時不況に陥るなど金融危機の影響はまだまだ払拭されず暗い影を落とし続けている中、昨年、東日本大震災、そして世界各地において甚大な被害をもたらした自然災害は再び多くの人の心を疲弊させ、大きな傷跡を残してしまいました。

また、昨年発生した東日本大震災は単なる災害ではなく、近年迷走を続けあらゆる意味で存立基盤が脆弱に成っていた日本に追い打ちをかけ、我が国の衰亡の危機、国難ともいえる状況に追い込まれました。東日本大震災と原子力発電所事故によって突きつけられた東北と日本の復興、国難の時代にあっても政局に明け暮れ決断できない政治への不信、バブル経済崩壊後から「失われた30年」になる可能性すら感じる経済への不安、さらには領土・領海が脅威にさらされる安全保障問題など確かな道筋が見えず、我が国は決して先送りをするのでない多くの問題を抱えています。

そんなけて良い経済状況とは言えない中、2012年度（一社）津山青年会議所は、自分たちのまちの将来の為、「志操躬行」今、この一瞬を駆け抜ける 活きたとは行動することだ というスローガンを掲げ運動方針として

- ・確立されたひとづくり（「ひと」は「ひと」でしか磨けない 積極的に行動しよう ～個の確立～）
- ・心でつながりまちづくり（まちに広げよう思いやりの心と絆 ～心に響く運動の推進～）
- ・活力溢れるJCづくり（修練から生まれる奉仕の心 ～活力溢れるJCの創造～）

という3つの方針を掲げ一年間皆様と共に「自分たちのまちは自分たちで創る」という意識を持ち魅力溢れる津山圏域の創造を目指し活動を展開して参りました。

元日には恒例となっています徳守神社にて迎春の会を行いメンバーと共に一年間の事業の成功を祈願しスタートを切り1月19日には新年懇親会を開催し、ご来賓の方々、特別会員の方々との交流を深めさせていただきました。

そして4月14日にはこれから一年間活動を行っていくメンバー同士の士気を高め友情を深める為の研修事業「感謝・感動プログラム」を行いました。一泊二日の研修事業の中では、メンバーの意識の向上を図るプログラムも取り入れ、全員で明るい豊かな社会の実現に向け邁進していく決意を新たに致しました。

4月29日にはランドマークとしての津山城に着目し、城下町つやまのまちのあり方を考えてもらうきっかけを作る為に「創立55周年記念事業まちづくりシンポジウム」を開催させていただき、津山市民の想いをつなげ、まちへの誇りを持っていただく事ができました。

また5月27日には創立55周年記念式典・祝賀会を開催させていただき、先輩方をはじめ、ご理解とご支援をいただいている関係諸団体の方々、地域の方々へ改めて感謝の念を抱くと共に、(社)津山青年会議所の足跡を再確認することで、歴史・伝統・信頼を継承し夢に向かい、力強く前進する決意をお誓い致しました。

6月24日には美作大学のご協力のもと青少年健全育成事業「笑顔の親子いっしょにあそぼ」を開催させていただき、親子で心のつながることの大切さを感じていただきました。

8月4日5日に開催された第34回津山納涼ごんごまつりin吉井川では創立55周年記念事業として、今のごんご踊りに加え、一体感のある掛声に、太鼓や笛の音などで盛り上げ、踊り連やまつり参加者、様々な年代の方が一体となって踊れるような総踊りを制作しごんご踊りの新たな方向性を模索致しました。

8月24日～26日には宿泊型体験事業「笑顔は宝物～サマーキャンプ in SENSUIJIMA～」を開催し、日常と違った環境の中、集団行動を通じて協調性を育み、共同作業を通じて達成感、他人への感謝の心を感じるなかで、人と笑顔で接し深くふれあうことの大切さやお互いに助け合うことの大切さを学び、人のために役に立つことができる思いやりの心を培っていただきました。

9月には創立55周年記念として、植樹、タイムカプセルの埋設、作業道の新設を行い森の存在価値向上を図りました。また、2020年の森において、森に関する教育の時間を設けることで、今後津山圏域を対象とした事業展開への足掛かりとしました。

その他にも様々な事業展開をさせていただきましたが、まずはご報告とさせていただきます。また、創立55周年という大きな節目の年を迎えることができたのも、皆様方の多大なるご理解、ご協力、そしてご支援の賜物だと心より感謝致しています。

また、法人格移行制度に伴い2012年度(一社)津山青年会議所は一般社団法人格の取得を致しました。設立当初より受け継いだ、より公益性の高い運動を続ける事を我々の責務とし、一般社団法人格の取得を契機に地域に必要とされる団体としての気概を持ち更なる努力をしてみたいです。

そして、本年度は津山の地にて中国地区コンファレンスを開催させていただきます。津山JCらしいおもてなしをもって地に足を付けて一丸となり、全力で中国地区コンファレンスを成功へ導く覚悟でございます。魅力溢れる中国地区の創造へ向け、ご参加いただく市民の皆様、そして中国地区内各地青年会議所のメンバーに大きな成果を持ち帰っていただけるよう、邁進していく所存でございます。

最後になりますが、長きにわたり(一社)津山青年会議所の運動に深いご理解と温かいご支援をいただいております全ての皆様に対し衷心より御礼申し上げますと共に今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。ご報告に代えさせていただきます。

理 事 長 公 職 一 覧

名 称	役 職	名 称	役 職
津山市市民憲章推進協議会	副 会 長	津山市総合計画審議会	委 員
津山文化センター運営審議会	副委員長	津山市国際化プラン策定審議会	〃
津山さくらまつり実行委員会	〃	津山市安全・安心まちづくり推進協議会	〃
津山市観光開発審議会	委 員	津山納涼ごんごまつり実行委員会	副委員長
津山市商工業振興対策審議会	〃	津山市勤労者総合福祉センター運営委員会	委 員
(財)津山文化振興財団	理 事	津山環境保全対策推進審議会	〃
津山国際総合音楽祭委員会	監 事	津山市ゆとり創造プラン推進協議会	〃
津山市社会教育委員会	委 員	空路利用を促進する津山地域の会	副 会 長
津山市教育相談センター「鶴山塾」運営委員会	〃	津山線高速化推進期成同盟会	会 長
津山市交通安全対策協議会	〃	津山サンタフェ友好協会	監 事
(財)津山スポーツ振興財団	理 事	津山警察署管内暴力追放推進連合会	委 員
津山市ニューメディア推進会議	委 員	津山市社会福祉協議会	評 議 員
津山市人権尊重の教育推進協議会	〃	津山私学教育振興連絡会議	委 員
津山市人づくり事業運営委員会	〃	津山市社会教育施設整備運営検討委員会	〃
津山防衛協会	副 会 長	津山市生涯学習推進会議	〃
津山地区青少年健全育成連絡会	委 員	津山市立図書館協議会	〃
津山ガン対策協議会	〃	津山地域工業化ビジョン検討委員会	〃
津山観光キャンペーン推進会議	常任理事	津山市空路利用促進協議会	〃
津山まつり実行委員会	委 員	津山市青年団体連絡協議会	理 事
津山市観光ビジョン推進委員会	〃	津山市青少年育成センター運営審議会	委 員
津山市情報公開制度運営審議会	〃	津山市行財政改革推進委員会	〃
津山市献血推進委員会	〃	津山市男女共同参画まちづくり審議会	理 事
津山市文化振興事業基金運営委員会	〃	(財)津山観光協会	委 員
「社会を明るくする運動」津山市実施委員会	常任理事	中島病院旧本館保存活用プラン協議会	〃
津山市体育協会	委 員	津山市手をつなぐ育成会	代 議 員
津山市清掃手数料審議会	〃	特定非営利活動法人つやまNPO支援センター	理 事
津山市個人情報保護制度運営審議会	〃	美作国建国1300年記念事業実行委員会	監 事

組

織

1. 正 会 員

2011年度末会員数	43名
2012年度新加入者数	16名
2012年度中途退会者数	1名
2012年度年限退会者数	9名
2012年度末会員数	49名

会員移動明細

区分	氏名	勤務先	役職	月
新 加 入 者	石原雅志	(株)サインアート	工務部部長	
	岡章	(株)おか		
	小笠原翔太	(株)エックスランド		
	奥田考弘	美作マツダ自動車(株)	課長	
	金田長一郎	(株)金田建装	常務取締役	
	岸本陽平	(株)岸本鉄工所	鑄造部長	
	河野雅樹	(株)津山テント	専務取締役	
	小林諭卓	(株)小林写真館	代表取締役社長	
	鈴木大介	(有)木乃久商事	専務取締役	
	平井伸明	(有)アドデザイン		
	廣田勤	(株)ヒロタ	代表取締役社長	
	福島邦洋	(株)板屋金属	常務取締役	
	保田知己	足揉み整体 月の癒し	院長	
	山形三平	(株)津山医研	専務取締役	
山本俊輔	(有)大文字本舗	常務取締役		
若林章仁	あいおいニッセイ同和損害保険(株)			
中途退会者	薬師寺裕	東真産業(株)		

2012年度年限退会者

区分	氏名	勤務先	役職	月
年 限 退 会 者	福田順也	福田農機(株)	代表取締役	
	半田倫章	(有)半田自動車	代表取締役	
	野井隆博	鏡野タクシー(有)・鏡野観光	専務取締役	
	平木基裕	津山信用金庫	経営管理課 課長	
	金井建侍	津山スズキ販売(株)		
	石本始	石本精肉店		
	妹尾征徳	(株)妹尾建設	専務取締役	
	畝岡孝一	(株)美成	専務取締役	
	池上潤	津山明治乳販(株)	専務取締役	

2. 特別会員 2012年度末会員数 376名

2012年度 理事・役員名簿

理 事 長	村 上 雅 人	
直 前 理 事	佐 野 彰 彦	(岡山ブロック協議会 副会長)
副 理 事 長	半 田 倫 章	(財務審査会議 議長)
副 理 事 長	光 岡 宏 文	(創立55周年ビジョン策定実行委員長)
総務拡大委員会理事委員長	全 本 諦 令	(日本青年会議所 拡大委員会 委員)
専 務 理 事	河 原 淳	
ひとづくり室理事室長	長 谷 川 毅	(津山市市民憲章推進協議会 事務局長)
まちづくり室理事室長	柳 澤 雅 人	
理 事 事 務 局 長	西 口 元 庸	(岡山ブロック協議会 災害復興支援委員会 委員)
創立55周年ビジョン策定実行委員会 理事副実行委員長	龍 門 慶 輝	(岡山ブロック協議会 地球未来委員会 委員)
創立55周年ビジョン策定実行委員会 理事副実行委員長	山 本 真 也	
ひとづくり室理事副室長	須 江 健 治	(岡山ブロック協議会 災害復興支援委員会 委員長)
まちづくり室理事副室長	北 村 暢 宏	
会員指導力研修委員会理事委員長	鳥 越 俊 之	(岡山ブロック協議会 地域リーダー育成委員会 委員)
広報渉外委員会理事委員長	土 居 大 介	(岡山ブロック協議会 地域創造委員会 副委員長)
まちづくり委員会理事委員長	有 本 紳 介	
まつりプロジェクト 理事キャプテン	菅 田 拓 平	
2020年の森プロジェクト 理事キャプテン	平 木 基 裕	

以上 理事18名

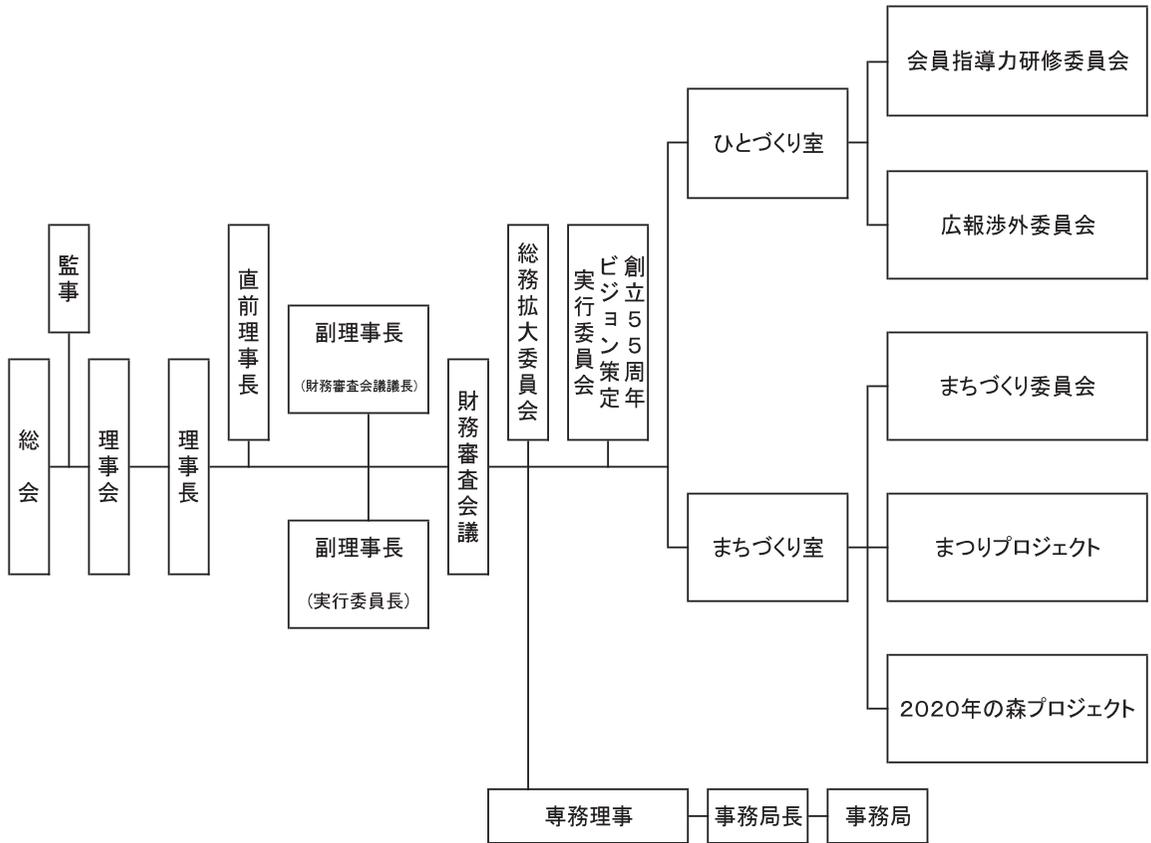
監 事	妹 尾 征 徳
監 事	田 村 泰 庸

以上 監事 2名

(常任オブザーバー)

日 本 青 年 会 議 所	中 川 洋 平	(拡大委員会 委員)
日 本 青 年 会 議 所	脇 優 太	(拡大委員会 委員)
中 国 地 区 協 議 会	仲 西 祐 一	(国際交流委員会 委員)
中 国 地 区 協 議 会	梶 岡 伸 吉	(誇りある地域確立委員会 委員)
岡 山 ブ ロ ッ ク 協 議 会	寺 本 健 志	(災害復興支援委員会 委員長幹事)
岡 山 ブ ロ ッ ク 協 議 会	末 澤 秀 昌	(災害復興支援委員会 委員長幹事)
岡 山 ブ ロ ッ ク 協 議 会	仲 西 祐 一	(副会長 幹事)
岡 山 ブ ロ ッ ク 協 議 会	橋 本 安 弘	(地域リーダー育成委員会 委員)
岡 山 ブ ロ ッ ク 協 議 会	山 本 竜 義	(地域創造委員会 委員)
岡 山 ブ ロ ッ ク 協 議 会	福 田 邦 夫	(災害復興支援委員会 委員)
岡 山 ブ ロ ッ ク 協 議 会	須 江 庸 司	(地域未来委員会 委員)
岡 山 ブ ロ ッ ク 協 議 会	高 橋 拓 己	(副会長 幹事)

2012年（社）津山青年会議所組織図



理事18名

監事 2名

※財務審査会議の出席義務者は執行部（理事長・直前理事長・副理事長・総務拡大委員長・専務理事・室長・事務局長）とし議題作成者の出席及び発言を認める事とする。

※創立55周年ビジョン策定実行委員会(55周年)は副理事長が兼務し副実行委員長2名を常任理事とする。

※(55周年)幹事は4名とし各部会の部会長は委員長が兼務し委員会構成メンバーと共に活動する。

※2020年の森はプロジェクト制にしキャプテン1名とする。副室長がプロジェクトメンバーを兼務する。また、キャプテンが指名した数名をメンバーに加える事とする。

2012年 (社)津山青年会議所 所屬表

理事長 村上 雅人	直前理事長 佐野 彰彦	副理事長 (財務審査会議議長) 半田 倫章	監事 光岡 宏文	監事 妹尾 征徳	監事 田村 泰庸
専務理事 河原 淳	委員 会 名 総務拡大委員会	理事・委員長 全本 諒命	副委員長 西口 村上・半田・光岡・河原・長谷川・柳澤	員	
専務局長 西口 元庸	創立55周年ビジョン策定 実行委員会	理事・実行委員長 光岡 宏文	幹事 山本真・龍門	部会長 鳥越・土居・有本紳	
ひとりづくり室	会員指導力研修委員会	鳥越 俊之	中川 一之橋本	植月 畝岡・有本淳・薬師寺・末澤・梶岡・山本俊・河野・小林・廣田・小笠原	
まちづくり室	広報渉外委員会	土居 大介	山本竜	脇 野井・池上・土井・石本・仲西・菅田・石原・保田・福島・金田・岡	
	まちづくり委員会	有本 紳介	福田邦	須江庸 山本幸・金井・寺本・福田順・池田・平木・高橋・山形・平井・鈴木・奥田・岸本・若林	
	まつりプロジェクト	理事・キャプテン 菅田 拓平	副キャプテン 高橋	金井 野井・石本・末澤・福田順・梶岡・山本竜・福田邦・植月・脇・須江庸・山形・平井・鈴木・奥田・石原 岸本・保田・山本俊・河野・福島・小林・廣田・金田・岡・小笠原・若林	
	2020年の森プロジェクト	理事・キャプテン 平木 基裕	副キャプテン 有本淳	山本竜 北村・須江健・田村・橋本・福田邦	
出 向	(社)日本青年会議所 拡大委員会 岡山ブロック協議会	災害復興支援委員会 委員 仲西 梶岡	中国地区協議会 委員 仲西 梶岡		
	副会長 佐野	副会長幹事 高橋	副会長幹事 寺本	委員長幹事 末澤	社団法人 津山青年会議所 〒708-0022 岡山県津山市山下30-9 (津山商工会館内4階) TEL: (0868) 22-6713 FAX: (0868) 25-1415
	津山市市民意識推進協議会 副会長 村上	津山市市民意識推進協議会 事務局長 長谷川	津山市市民意識推進協議会 副事務局長 須江健	津山市市民意識推進協議会 事務局長 半田・西口・鳥越・土居・有本紳	

2012年度事業報告

◎総会例会

月 日	内 容	会 場
1月19日	1月例会・定時総会 定時総会議案 2011年度事業報告（案）収支決算（案）の承認 2012年度予算一部修正の件	津山国際ホテル
2月19日	2月例会	津山国際ホテル
3月19日	3月例会 講演会「津山城の歴史と魅力」 会員指導力研修委員会アワー	津山国際ホテル
4月13日	東北4JC合同例会（岡山ブロック会長公式訪問） 合同研修会 講師：加藤 秀視 演題：志があれば、未来も変わる	美作文化センター
4月19日	4月例会 会員指導力研修委員会事業 講師講演 講師：岡 悠紀好先輩 演題：「JCでの経験を社会で生かす」	津山国際ホテル
5月19日	5月例会・臨時総会 臨時総会議案 ※例会後に創立55周年決起集会	津山国際ホテル
6月19日	6月例会・臨時総会 臨時総会議案 次年度理事選考委員会の選出について 委員会アワー まつりプロジェクト「和っしょい！津山」	津山国際ホテル
7月19日	7月例会・臨時総会 臨時総会議案 次年度理事長選出について 委員会アワー まつりプロジェクト「津山納涼ごんごまつりについて」	津山国際ホテル
8月19日	8月例会	津山国際ホテル
9月20日	9月例会・臨時総会 臨時総会議案 2012年度社団法人津山青年会議所 事業報告（案）について 2012年度社団法人津山青年会議所 収支決算（案）について 2012年度一般社団法人津山青年会議所 事業計画（案）について 2012年度一般社団法人津山青年会議所 収支予算（案）について 委員会アワー 会員指導力研修委員会「卒業予定者スピーチ」	津山国際ホテル
10月19日	10月例会 委員会アワー 会員指導力研修委員会「卒業予定者スピーチ」	津山国際ホテル
11月19日	11月例会 委員会アワー 会員指導力研修委員会「卒業予定者スピーチ」	津山国際ホテル
12月19日	12月例会・定時総会 定時総会議案 2012年度補正予算（案）について 2013年度役員承認について 2013年度事業計画（案）について 2013年度予算（案）について	津山国際ホテル

◎理 事 会

月 日	内 容	会 場
1月7日	<p>審議事項</p> <p>1) 総務拡大委員会：畝岡孝一君 休会の件 2) 事務局長：繰越金決定による予算（案）修正の件 3) 創立55周年ビジョン策定実行委員会：創立55周年に関する事業計画書（案）及び事業収支予算書（案）の件</p>	津山商工会館議員室
2月9日	<p>審議事項</p> <p>1) 会員指導力研修委員会：迎春の会に関する事業報告書（案）及び事業収支決算書（案）承認の件 2) 会員指導力研修委員会：例会企画に関する事業計画書（案）及び事業収支決算書（案）承認の件 3) 会員指導力研修委員会：感謝・感動プログラムに関する事業計画書（案）及び事業収支予算書（案）承認の件</p>	津山商工会館議員室
3月8日	<p>審議事項</p> <p>1) 会員指導力研修委員会：LOM新会員研修会（導入編）に関する事業報告書案及び事業収支決算書（案）の件 2) 会員指導力研修委員会：新年懇親会に関する事業報告書（案）及び事業収支決算書（案）の件</p> <p>協議事項</p> <p>1) 会員指導力研修委員会：会員相互の友愛親睦及び体育厚生に関する事業計画書（案）及び事業収支予算書（案）について 2) 創立55周年ビジョン策定実行委員会：創立55周年に関する事業計画書について</p>	津山商工会館議員室
4月9日	<p>審議事項</p> <p>1) 会員指導力研修委員会：LOM新会員研修会（研修編）に関する事業報告書（案）及び事業収支決算書（案）承認について 2) 2020年の森プロジェクト：2020年の森管理育成に関する事業計画書（案）及び事業収支予算書（案）について 3) まちづくり委員会：青少年健全育成事業の推進に関する事業計画書（案）及び事業収支予算書（案）について</p> <p>協議事項</p> <p>1) 創立55周年ビジョン策定実行委員会：創立55周年に関する事業計画書について</p>	津山商工会館議員室
5月9日	<p>審議事項</p> <p>1) 創立55周年ビジョン策定実行委員会：中期ビジョン（案）承認について</p> <p>協議事項</p> <p>1) まちづくり委員会：青少年健全育成事業の推進に関する事業計画書について 2) 創立55周年ビジョン策定実行委員会：創立55周年に関する事業計画書について</p>	津山商工会館議員室
6月9日	<p>審議事項</p> <p>1) 会員指導力研修委員会：例会企画事業報告書（案）及び事業収支決算書（案）承認について 2) 会員指導力研修委員会：8月例会時間変更の件について 3) 会員指導力研修委員会：納涼会に関する事業計画書（案）及び事業収支予算書（案）承認について</p> <p>協議事項</p> <p>1) まちづくり委員会：青少年健全育成事業の推進に関する事業計画書及び事業収支予算書（案）について</p>	津山商工会館議員室
7月9日	<p>審議事項</p> <p>1) 会員指導力研修委員会：会員相互の友愛親睦及び体育厚生に関する事業計画書及び事業収支補正予算書（案）について 2) 会員指導力研修委員会：会員相互の友愛親睦及び体育厚生に関する次行報告書及び事業収支決算書（案）について 3) まちづくり委員会：青少年健全育成事業の推進に関する事業計画書（案）及び事業収支予算書（案）承認について 4) 2020年の森プロジェクト：2020年の森に関するビジョンの調査研究及び事業の推進に関する事業計画書（案）及び事業収支予算書（案）について</p> <p>協議事項</p> <p>1) 創立55周年ビジョン策定実行委員会：創立55周年記念事業－2020年の森について</p>	津山商工会館議員室

月 日	内 容	会 場
8月9日	<p>審議事項</p> <p>1) まちづくり委員会：青少年健全育成事業の推進に関する事業報告書(案)及び事業収支決算書(案)承認について</p> <p>2) 2020年の森プロジェクト：2020年の森 管理育成に関する事業報告書(案)及び事業収支決算書(案)承認について</p> <p>協議事項</p> <p>1) 創立55周年ビジョン策定実行委員会：創立55周年記念事業～2020年の森～について</p>	津山商工会館議員室
9月9日	<p>審議事項</p> <p>1) 事務局：社団法人津山青年会議所 事業報告書(案)承認について</p> <p>2) 事務局：社団法人津山青年会議所 収支決算書(案)承認について</p> <p>3) 事務局：一般社団法人津山青年会議所 収支予算書(案)承認について</p> <p>4) 事務局：一般社団法人津山青年会議所 事業計画書(案)承認について</p> <p>5) まちづくり委員会：青少年健全育成に関する事業報告書(案)及び事業収支決算書(案)承認について</p>	津山商工会館議員室
9月19日 臨時	<p>審議事項</p> <p>1) 事務局：一般社団法人津山青年会議所 収支予算書(案)承認について</p> <p>2) 事務局：一般社団法人津山青年会議所 事業計画書(案)承認について</p>	津山商工会館議員室
10月9日	<p>審議事項</p> <p>1) 会員指導力研修委員会：納涼会に関する事業報告書(案)および事業収支決算書(案)承認について</p> <p>2) 会員指導力研修委員会：12月例会時間変更に承認について</p> <p>3) 会員指導力研修委員会：望年会に関する事業計画書(案)および事業収支予算書(案)承認について</p>	津山商工会館議員室
11月9日	<p>審議事項</p> <p>1) 総務拡大委員会：2013年度一般社団法人津山青年会議所 新会員承認について</p> <p>2) まちづくり委員会委員会：青少年健全育成に関する事業計画書(案)及び事業収支補正予算書(案)承認について</p> <p>3) まちづくり委員会：青少年健全育成に関する事業報告書(案)及び事業収支決算書(案)承認について</p> <p>4) 2020年の森プロジェクト：2020年の森の活用に関する調査研究及び事業推進に関する事業報告書(案)及び事業収支決算書(案)承認について</p> <p>5) 創立55周年ビジョン策定実行委員会：創立55周年に関する事業計画書(案)及び事業収支補正予算書(案)承認について</p> <p>6) 創立55周年ビジョン策定実行委員会：創立55周年に関する事業報告書(案)及び事業収支決算書(案)承認について</p>	津山商工会館議員室
12月10日	<p>審議事項</p> <p>1) 2012年度補正予算(案)について</p> <p>2) 2012年度総務拡大委員会：2013年度一般社団法人津山青年会議所 新会員承認について</p> <p>3) 2012年度総務拡大委員会：2013年度一般社団法人津山青年会議所 特別会員承認について</p> <p>4) 2012年度総務拡大委員会：薬師寺 裕君退会について</p> <p>5) 2013年度事業計画(案)について</p> <p>6) 2013年度予算(案)について</p> <p>7) 2013年度指導力研修委員会：「LOM新会員員研修会(導入編)」に関する事業計画書(案)及び事業収支予算書(案)について</p> <p>8) 2013年度会員開発委員会：「迎春の会」に関する事業計画書(案)及び事業収支予算書(案)について</p> <p>9) 2013年度会員開発委員会：「1月例会開催日時変更の件」について</p> <p>10) 2013年度指導力研修委員会：「新年懇親会」に関する事業計画書(案)及び事業収支予算書(案)について</p> <p>11) 2013年度指導力研修委員会：「LOM新会員員研修会(研修編)」に関する事業計画書(案)及び事業収支予算書(案)について</p>	津山商工会館議員室

2012年度 報 告 書



直前理事長
岡山ブロック協議会 副会長 佐野 彰彦

2008年に始った公益法人制度改革に伴い本年度は一般社団法人へと移行を遂げ、また併せて創立55周年という節目の年でありました。文字通り新たなスタートを切る年となり、津山青年会議所が次なるステージへ踏み出す記録と記憶に残る年ではなかったかと思います。志操躬行～今この一瞬を駆け抜けろ 活きたとは行動することだ！～ 村上雅人理事長のスローガンに込められた想いを全会員が理解し、そして実践へと全力で取り組みました。これまでの歴史・伝統をしっかりと引き継ぎ地域発展の負託に応える団体へと更に進化を遂げるべく運動・活動を展開いたしました。私自身を振り返ってみますと直前理事長として村上雅人理事長をしっかりサポート出来ていたか少し反省をしなければならぬかもしれません。しかし、周年事業や本年取り組んだ諸事業を振り返りますと新しい力が育ってきていることを実感いたします。更なる飛躍を目指し、若手会員の活躍を是非とも期待したいと思います。また、公益社団法人日本青年会議所 中国地区岡山ブロック協議会副会長として出向させていただきました。河崎雅樹会長を筆頭に凛然たる地域岡山の創造を目指し運動・活動を展開いたしました。昨年の中日本大震災を経てひとつの時代が終焉を迎え、新しい日本の未来を真剣に考える時期が到来する中、エネルギー問題や防災に関するものなど様々な事業を開催いたしました。私が担当いたしました中では国のあり方を市民の皆様と共に考えていくべく、憲法タウンミーティングを開催いたしました。憲法と聞くだけで顔を背けられてしまう現状を何とか変えていこうと高校生をパネラーにお招きし次世代を担う高校生の意見を渡し、日本の未来ビジョンを市民の皆様と共に考える場を作り努めました。そして岡山県知事選公開討論会を開催しました。新しい時代の到来を予感させる新人4名による16年ぶり、岡山県では戦後初の民間出身者による新たなリーダーを選択する大事な選挙でありました。未来を選択する主権在民の意識情勢を図ってまいりました。また、東日本大震災を受け、ブロック内各地会員会議所が持続的な支援を確立していただきたいとの想いを込め東北現地支援事業を開催しました。福島第一原子力発電所事故で三重苦を背負った福島県を訪問し、被災地の皆様を交え被災地が抱える山積する問題を視察すると共に我々JCのすべきことを強く感じ、参加者が気持ちを新たにいたしました。それぞれが難しいテーマばかりでありましたが、それ故に考えさせられることも多くあり、大変貴重な経験をさせていただきました。事業開催にあたっては多くの先輩からご助言、ご支援をいただきこの場をお借りし御礼を申し上げます。一年間大変お世話になり誠にありがとうございました。2013年は美作国1300年祭、中国地区コンファレンス津山大会を控えております。私自身も最終年度となります。これまで先輩方にご指導いただいたことを少しでも後輩メンバー引き継ぎ、津山青年会議所の更なる飛躍をお誓い申し上げ、本年度の報告といたします。

副理事長 半田 倫章



本年は、村上理事長の「志操躬行～今この一瞬を駆け抜けろ 活きたとは行動することだ！～」のスローガンのもと、副理事長そして財務審査会議議長を一年間務めさせていただきました。

財務審査会議では、津山青年会議所のビジョンそして理事長の基本理念・基本方針に沿った事業に導けるよう試行錯誤の日々でしたが、皆様のご協力のもとどうにか務めあげる事ができ、ラストイヤーに相応しい充実した一年を過ごさせていただきました。

最後に、副理事長という役職を与えていただきました村上理事長をはじめ、お世話になった全ての皆様に心より感謝申し上げます。一年間本当にありがとうございました。

事務局長 西口 元庸



本年度は一般社団法人への移行が決まり、その為7月に決算という運びとなりました。

移行処理も無事に終了し、晴れて10月の総会決議で一般社団法人津山青年会議所をスタートすることができました。今後、公益目的支出計画にそった支出計画等、一般社団法人として新たな枠組みの中での課題は多々ありますが、次年度以降にしっかりと引継ぎを行っていきたいと思います。

また、今年は創立55周年として、式典に始まり、各種記念事業を特別会計として処理をいたしました。こちらも滞りなく決算を終了することが出来ました。

この法人移行、創立55周年という大きな課題を抱える一年の事務局長として、法人の会計処理に携わることができ、多くの事を学ぶことができた1年となりました。

最後に、ご協力いただきましたメンバーの皆様に感謝を申し上げ報告とさせていただきます。

月 日	事 業 ・ 行 事	月 日	事 業 ・ 行 事
1月1日	迎春の会	7月20日	サマーコンファレンス2012(横浜)
1月16日	津山J C O B総会	7月21日	
1月19日	1月例会・定時総会・新年懇親会	7月25日	異業種交流会
1月20日	中国地区ナイト(京都)	7月30日	岡山ブロック会員会議所会議(岡山)
1月21日	京都会議・日本J C 総会・中国地区 第1回会員会議所会議・全城連 第1回役員会・通常総会(京都)	8月4日	第33回津山納涼ごんごまつり
		8月5日	
1月22日	京都会議 宮古J C 歓迎会(宮古J C 来津)	8月10日	「笑顔は宝物サマーキャンプin SENSUIJIMA」笑顔サポーター研修会
1月28日	岡山ブロック会員会議所会議(倉敷)	8月18日	「笑顔は宝物サマーキャンプin SENSUIJIMA」団結式
2月15日	岡山ブロック全体会議(岡山)	8月19日	8月例会・臨時総会・納涼会
2月19日	2月例会	8月24日	「笑顔は宝物サマーキャンプin SENSUIJIMA」
2月24日	東北4 J C 合同役員会議(真庭)	8月25日	
2月25日	岡山ブロック会員会議所会議(岡山)	8月26日	
2月26日	L O M新会員研修会(研修編)	8月30日	津山J C ・津山市役所青年部意見交換会
2月27日	岡山ブロック会員懇親野球大会第1回監督・キャプテン会議(岡山)	8月31日	中国地区会員会議所会議(米子)
3月7日	創立55周年記念51代～55代理事長座談会	9月1日	中国地区コンファレンス2012(米子)
3月10日	日本J C 総会(盛岡) 日本J C 復興創造フォーラム(盛岡)	9月5日	商工会議所青年部との交流会
3月15日	野球部団結式	9月12日	2020年の森の活用について
3月17日	岡山ブロック新会員研修会及び新会員研修会懇親会	9月15日	岡山ブロック会員会議所会議(玉島)
3月19日	3月例会	9月16日	岡山ブロック東北現地支援事業～東北に皆が心を寄せ、真の復興へinふくしま～
3月23日	岡山ブロック会員会議所会議(岡山)	9月17日	9月臨時理事会・9月例会・臨時総会
3月27日	第89回岡山ブロックじゃがいも第1回キャプテン会議(井原)	9月19日	異業種交流会
3月28日	東北4 J C 合同役員会議(新見)	9月21日	岡山ブロック第2回地域リーダー育成塾
4月3日	岡山ブロック会頭公式訪問・理事長座談会並びに拡大セミナー(岡山)	9月24日	「～Jayceeだからできる!地域に必要とされる会社づくり～J C 青経塾」
4月13日	東北4 J C 合同例会・会長公式訪問・岡山ブロック役員懇談会(新見)	9月26日	岡山ブロック第2回地域リーダー育成塾
4月14日	感謝・感動プログラム	9月27日	「～Jayceeだからできる!地域に必要とされる会社づくり～J C 青経塾」
4月15日		9月30日	東北4 J C 秋季じゃがいも大会(真庭)
4月19日	4月例会	10月12日	岡山ブロック懇親サッカー大会(西大寺)
4月26日	東北4 J C 春季じゃがいも大会(美作)	10月13日	第60回全国会員大会(北九州)
4月28日	岡山ブロック会員会議所会議(津山)	10月14日	
4月29日	創立55周年記念まちづくりシンポジウム	10月15日	第38回岡山J C ・津山J C 交歓会(岡山)
5月11日	東北4 J C 春季じゃがいも大会(津山)	10月19日	10月例会
5月13日	岡山ブロック会員懇親野球大会(岡山)	10月21日	徳守神社秋祭り
5月19日	5月例会・臨時総会	10月22日	岡山ブロック会員懇親野球大会第1回監督・キャプテン会議(岡山)
5月22日	第83回岡山ブロックじゃがいも大会(井原)	10月23日	会員指導力開発拡大委員会
5月26日	岡山ブロック会員会議所会議(真庭)	11月4日	友好3 J C 交流事業(津山)
5月27日	創立55周年記念式典・祝賀会		津山市市民憲章制定41周年「津山市民憲章デー」
6月10日	2020年の森	11月6日	第24回津山J C ・O B会ゴルフコンペ並びに卒業予定者追出しゴルフコンペ・懇親会
6月17日	第48回岡山ブロック会員大会・会員会議所会議(倉敷)	11月18日	美作国建国1300年3 J C プレ事業(真庭・津山・美作)
6月19日	6月例会・臨時総会	11月19日	11月例会
6月24日	笑顔の親子一緒にあそぼ 高梁J C 創立45周年記念式典・祝賀会	11月24日	岡山ブロック会員会議所会議(岡山)
6月27日	東北4 J C 合同役員会議(新見)	11月29日	東北4 J C 新旧合同役員会議(津山)
7月1日	岡山ブロック15 L O M一斉事業	12月1日	中国地区会員会議所会議(児島)
7月3日	中間監査	12月11日	2013年度理事・役員予定者と新会員予定者との顔合わせ会
7月7日	岡山ブロック第1回地域リーダー育成塾(高知)	12月19日	12月例会・定時総会・望年会
7月8日	出雲J C 創立55周年記念式典・祝賀会	12月22日	2013年度岡山ブロック出向予定者全体会議(岡山)
7月19日	7月例会・臨時総会		



総務拡大委員会

委員長 全 本 諦 令

■事業報告

本年は例年の総務委員会を総務拡大委員会と名称変更をされた、ここに込められた理事長の想いを具現化すべく、1年間邁進してまいりました。

総務に関する事項は、例年通りしっかりと取組み、「鶴山を考える会」への参画等、そして津山青年会議所の第一命題とも言うべき会員拡大、これらに関して年間を通して運動・活動を展開してまいりました。

2012年度の津山青年会議所は59名にてスタートし、当年度の卒業予定者は9名であり、一人でも多くの会員拡大を実現せねばならない事は明確でした。

ここ数年の会員減少の問題は、津山青年会議所だけの問題ではなく、各地青年会議所にとっても重要な懸案事項であり、日本青年会議所全体での最重要課題と言えます。

各地青年会議所や日本青年会議所がこの数年取り組んできた、会員拡大について学ぶべく、私自身、日本青年会議所拡大委員会の方へ委員として出向もいたしました。

当然のことながら会員拡大に特効薬の様な手法はなく、候補者一人一人に対して適切なアプローチ・勧誘、青年会議所の魅力を分かりやすく的確に伝える事、そして継続的に会い、候補者の入会に際しての不安点等を共に考える、このように様々なポイントを大切にしていかなければならないと感じながら、拡大運動を展開しました。

何よりもLOM一丸となって会員拡大に取り組む事が必要不可欠であり、我々LOMメンバー全員が、この津山青年会議所の魅力、そして我々LOMメンバーの魅力をしっかりと語り、その情熱が候補者の心を動かすものだと思っております。

次年度以降もこの重要な課題に対して、一丸となつての取組み、情熱のこもった会員拡大運動を展開していただきたく思います。

本年度総務拡大委員会の1年間の拡大運動の結果、2013年度は10名の新会員、本当に心強い我々の仲間を得る事が出来ました。

同じ目標に向かって共に運動・活動してくれた、メンバーの皆様にご心から感謝申し上げます、1年間の報告とさせていただきます。

□決算報告

会議費	0
	0



創立55周年ビジョン策定実行委員会

実行委員長 光岡宏文

■事業報告

本年度創立55周年という節目の年に、村上理事長の「志操躬行」のスローガンのもと副理事長として、また創立55周年ビジョン策定実行委員会実行委員長として記念式典・祝賀会、記念事業をはじめ、多くの事業や運動をメンバーと共に展開することができ、本当に思い出に残る年となりました。創立55周年のスローガンには「継創夢進～感謝と和っしょい～」を掲げさせていただきました。先輩方が築かれた歴史・伝統・信頼を継承しつつ、創造性をもって発展させ、しっかりとした夢にむかい進んでいく、さらに感謝の気持ちを忘れず、一丸となって力強く盛り上げていこうという想いのスローガンでした。

創立55周年記念式典・祝賀会は5月27日に津山国際ホテルにて、石井知事、宮地市長をはじめ、多くの方々のご参加のもと盛大に開催することができました。また、式典においては津山青年会議所の今日までの活動を紹介し、今後のビジョンや記念事業を発表させていただきました。

記念事業では4月29日に津山市総合福祉会館にて「津山城の魅力」と題した基調講演並びに、「津山城を中心としたまちづくり」というテーマでシンポジウムを開催しました。広島大学大学院三浦教授の基調講演では、日本でも有数の平山城である津山城の素晴らしさを伝えていただき、シンポジウムでは周辺整備から天守復元まで今後どのようにまちづくりに活かしていくかが議論されました。津山城について改めて学ぶことができ、誇りと愛着を得られた良い機会となりました。

2020年の森においては、記念事業として創立55周年記念植樹並びにタイムカプセルの埋設を行いました。また、森の存在価値向上の為、作業道の新設を行い、メンバーや先輩方の子どもに参加していただき、森に関する教育の時間を設けました。今後津山圏域を対象とした事業展開への足掛かりとなりました。

また、記念事業として、ごんごまつり企画部会の皆様をはじめ、地域の方々と共に「和っしょい！津山」という総踊りを制作しました。創立55周年記念祝賀会で初披露した後、ごんご踊り練習の際に広めていき、ごんご祭りにて参加者一体となって踊ることができました。さらに今回、「創立55周年」並びに「和っしょい！津山」のロゴを岡山県立津山工業高等学校デザイン科の皆さんに制作していただきました。

創立55周年を通して、先輩方が築かれた歴史・伝統を再確認しながら、他団体の方々、地域の方々とはよりつながりを深めることができ、一丸となって盛り上げることができました。副理事長、実行委員長として至らぬ点多々ありましたが、メンバーの大きな支えがあり一年間を過ごせたことに心より感謝申し上げ、報告とさせていただきます。

□決算報告

55周年特別会計繰入収入(基金より繰入)	2,721,348
登録料収入	3,030,000
雑収入	200,000
	<hr/>
	5,951,348



ひとつくり室

室長 長谷川 毅

■事業報告

本年度、(社)津山青年会議所は55周年を迎えました。メンバー一人ひとりにこの長い歴史の中で先輩方が築いてこられたひとつくり・まちづくりの伝統をしっかりと継承し自分の責任と役割を感じた上で各事業を通じて地域の皆様に存在意義がある青年会議所でありたいと考え活動を展開してまいりました。

会員指導力研修委員会においては、予定者段階からLOM新会員研修会(導入編)、迎春の会新年懇親会、LOM新会員研修会(研修編)、講師講演、感謝・感動プログラム、納涼会、忘年会を実施していただきました。本年度は新会員16名の近年には無い多くの新会員を委員長はじめ委員会メンバーで一致団結して真剣必死に取り組むことで、その後の55周年式典・懇親会や各委員会事業などにも存分に力を発揮してもらえたことに繋がりました。

広報渉外委員会においては、対内紙「あした」の発行においてLOMの運動・活動などの情報発信ホームページの活用で閲覧者にとって見やすく、わかりやすいホームページの作成、そして渉外活動等を通じてメンバーがさらに絆を深めその和がLOM全体を盛り上げていく委員会でありました。また津山市民憲章推進協議会事務局長として各事業に取り組んでまいりました。7月には岡山ブロック協議会15青年会議所が同日一斉に各地域の観光地や名高い場所を会員と地域の市民と一緒に清掃活動をすることにより、地域社会と深く繋がりが持て、市民の皆様も地域の豊かな自然や文化を再認識できる事を目的に「岡山県内15観光名所一斉クリーン大作戦」に津山市民憲章推進協議会として参加致しました。またマスコットキャラクター「さくらん」のバッチを作成し市長、副市長に秋田健二会長からの贈呈があり今一度市民憲章そのものを考え市民の皆様と考えていただく取り組みをしてまいりました。本年も「市民憲章デー」を開催させていただき、講師講演に倉敷市民憲章推進協議会 会長 室山 貴義氏をお招きしての「みんな、一度きりの人生」の演題にて道徳的な深いご講演をいただきました。更に津山市内の小中学校生、高校生、一般の方より約1700点の図画、習字、絵画の作品応募があり厳正な審査において市民憲章デーの中にて表彰式をいたしました。力作ぞろいの中の作文の朗読も非常に充実したものになり例年作品募集を通じて、幅広い世代と、多くの市民に市民憲章を知っていただく機会となりました。その後入賞作品を11月15日(木)～11月21日(水)まで津山市役所1階ロビーにて展示し多くの方々に観ていただきました。最後になりますが、村上理事長をはじめとされます現役メンバーはもとより関係者の皆様を支えていただき、ご協力いただき、厚く御礼申し上げます。室の運営・活動を無事に終えることが出来ました。本当にありがとうございました。

□決算報告

対外誌「あした」	346,500
会議費	0
	<hr/>
	346,500



まちづくり室

室長 柳澤 雅人

■事業報告

2012年度まちづくり室では、運動方針であります「心でつなぐまちづくり（まちに広げよう思いやりの心と絆 ～心に響く運動の推進～）」を念頭に、まちづくり委員会、まつりプロジェクト、2020年の森プロジェクトの体制にて、まちに住むひとが「ふるさと"つやま"」の魅力を大切だと思うこと、そしてお互いに思いやりの心を持ってもらうことを目的に、まちづくり運動・活動を推進させていただきました。

「心でつなぐまちづくり」を推進する為には、他団体を巻き込み、多くの協力を得ることで事業を展開していく必要があると考えました。まちづくり委員会の担当で創立55周年の記念事業としてまちづくりシンポジウムを開催させていただき、パネルディスカッションに向けて、各種団体の方々との事前調整をしっかりと行うことで、我々の想いを共有させていただきました。また、まちづくり委員会では美作大学との強固な関係を築いた事で事業を行うことができ、2020年の森プロジェクトでは、津山市森林課、NPO法人エコネットワーク津山にご協力をいただき事業を行うことができました。まつりプロジェクトでは、早い段階からスタートを切ることで他団体との関係を円滑にし、事前調整をしっかりと行った上でまつりを開催させていただきました。

まちづくり委員会では、有本委員長のもと、「まちに広げよう思いやりの心と絆」を推進するため、親子の絆を深めてもらう事業の展開、地域の宝である子ども達が人のために役立つことができる思いやりの心を持ってもらうことを目的に事業を展開しました。

まつりプロジェクトでは、菅田キャプテンのもと、創立55周年記念事業で作成した「和っしょい津山」を推進するために、早い段階から他団体と調整を行い、ごんごまつりには盛大にお披露目することができました。

2020年の森プロジェクトでは、平木キャプテンのもと、創立55周年記念事業として以前より懸案となっていた新作業道を作ることができ、2020年の森の新たな可能性を広げることができました。

「特定非営利活動法人つやまNPO支援センター」への参画では、北村副室長が実行委員長として、同センターの団体と共に、「つながる」をテーマにテント村、軽トラ市、ステージでのイベントが行われ、地域の方々に来場していただき、ひとりでも多くの方との絆が得られる様なおまつりにする事を目的にあいあいまつりを企画し、過去最高の来場者数のもと開催することができました。

最後に、創立55周年という記念すべき年にまちづくり室の室長という大役をいただき、村上理事長には本当に感謝しております。また、様々なアドバイスをいただいた理事の皆様、そして各事業では多くの力を貸していただいたメンバーの皆様の皆様のご協力があったからこそ、この一年を全う出来たと感じております。本当にありがとうございました。

□決算報告

会議費	6,850
	6,850



まつりプロジェクト

キャプテン 菅田 拓平

■事業報告

第34回を迎える津山納涼ごんごまつり in 吉井川が2012年8月4日(土)、5日(日)の2日間盛大に行われました。

まず、プロジェクトとして歴史、伝統を学ぶところから始めました。私たちの暮らすまち津山は、出雲と播磨を結ぶ出雲街道による東西の交流、岡山県南北を結ぶ吉井川による南北の交流、このことで美作の国の中心として栄えてきました。まつりのメインテーマであります「よみがえれ 川の魂」とは、津山の歴史、文化、経済を支えてきた母なる川「吉井川」を想う人々の魂の復活を願って作られたテーマです。それは、このまちに暮らす一人一人が、自然の偉大さや先人達の営みに想いを馳せ、絆を大切にし、同じ想いを共有することによって、地域の活性、発展の原点となると考えられています。

ごんごまつりの歴史を継承し、プロジェクトメンバー丸となり企画・立案を行いました。PR活動では、ご当地アイドル「SakuLove」と提携し、さくらまつり、おどり講習会、イオンモール津山と'ごんちゃん'とともにまつりをPRしました。土曜日のメインであるおどりでは、27連約2,000名の踊り手の方々が、連ごとに工夫をした衣装を身に纏い、まつりに華を添えていただきました。またこの日、創立55周年記念事業の一環として、企画部会、分科会とともに創作した総踊り「和っしょい津山」を市民の皆様披露しました。ステージの前で行う総踊りは過去に類を見ないほどの盛り上がりでした。ステージ会場では創作おどり、バンド演奏、ヒップホップ等と趣向を凝らして楽しんでいただけたと思います。イベント会場では妖怪ごんごの館、縁日ごんごと近年最高の来場であり、メンバーも喜んでいました。ロケーションでは南岸にアクションスポーツ協会のご協力のもと初めてイベントを行いました。初の試みであったのですが、来年も続けていきたいと考えています。エコキャップ活動も75万個集まり多くのワクチンに変えることができました。そして、花火は花火業者の方と綿密な打ち合わせをし、8000発打ち上げることができ大いに盛り上げることができたと考えています。

10月28日、徳守神社の秋祭りが開催されました。今年は天候に恵まれず2時間ほどで終了となってしまいました。しかしながら、奉賛会に出席した中で、氏子の皆様の神輿に対する想いを聴き、翌年は美作国建国1300年を迎え秋まつりは盛大に執り行われることを実感しました。

「このまつりによって作られた人の輪の中から、地域を想う様々な想いが生まれ、その実現に向かって、それぞれが取り組んでいく。」まつりに参加することで、新しい出会いがあり、時間と目的を共有し、積極的に行動していく。このことが「まつり」による「まちづくり」であると考え、一年間運動・活動してきました。また、今年は新会員16名入会し総勢28名のプロジェクトメンバーで運動・活動を行うことができました。皆様のご協力があったのでまつりです。一年間ありがとうございました。

□決算報告

会議費	0
	0





会員指導力研修委員会

委員長 鳥越俊之

■事業報告

本年度、会員指導力研修委員会では、村上理事長の掲げられた「志操躬行～今この一瞬を駆け抜けろ～生きるとは行動することだ！」のスローガンのもと、一年間全力で運動・活動に取り組みました。会員開発、指導力開発を二本柱に、委員会として「感謝・感動」を念頭にメンバーが一致団結し、感謝と感動を共有する事で、積極的に行動出来る人材を育成するという確固たる想いをもち、各事業を開催させていただきました。

1. 月例会の運営統括及び通知の発行
 - イ) 担当月における例会の企画・運営の実施
 - ロ) 他委員会における例会の企画・運営の統括
 - ハ) 100%例会の開催 12月例会にて達成いたしました。
2. 会員開発及び会員拡大に関する事項
3. 会員及び委員会の表彰具申
 - イ) 卒業式の実施 2012年12月19日
4. 会員相互の友愛親睦及び体育厚生
 - イ) 新年懇親会の開催 2012年1月19日
 - ロ) 感謝・感動プログラムの開催 2012年4月14日、15日
 - ハ) 納涼会の開催 2012年8月19日
 - ニ) 望年会の開催 2012年12月19日
 - ホ) 特別会員との交流(追い出しコンペ) 2012年11月6日
5. 会員の指導力に関する研究及び推進
 - イ) 卒業予定者スピーチの実施 9月、10月、11月例会にて実施いたしました。
6. 経営者としての会員の研修及び開発に関する事項
 - イ) 講師講演の実施 2012年4月19日
講師に第36代理事長の岡悠紀好先輩をお招きし、「JCでの経験を社会で活かす」を演題にご講演をいただきました。
7. 新会員の研修に関する事項
 - イ) LOM新会員研修(導入編)の実施 2011年12月10日～2012年1月19日
 - ロ) LOM新会員研修(研修編)の実施 2012年1月20日～2012年2月26日
 - ハ) 岡山ブロック新会員研修会への参加 2012年3月16日
岡山ブロック新会員研修会では本年度入会の16名が積み上げてきた練習の成果を発揮し、アトラクションの部で優勝を飾る事が出来ました。
8. 会員の研修に関する事項
 - イ) 迎春の会の実施 2012年1月1日
また、創立55周年記念式典・祝賀会の設営も担当委員会として取組ませていただきました。一年間を通して、村上理事長をはじめとします理事・役員の皆様方には多くのご協力とご指導を賜り、本当にありがとうございました。また各事業に積極的にご参加いただきましたLOMメンバーの皆様方と共に一致団結し、55周年という節目の年に、多くの感謝と感動を共有する事が出来たと思います。一年間本当にありがとうございました。

□決算報告

迎春の会	31,675
新会員研修(導入編)	46,397
新年会	807,883
新会員研修(研修編)	36,100
講師講演	6,892
感謝感動プログラム	606,600
納涼会	644,000
忘年会	560,966
会議費	7,350
	2,747,863



広報渉外委員会

委員長 土居大介

■事業報告

2012年度一般社団法人津山青年会議所広報渉外委員会では、本年度展開してきた津山青年会議所の運動・活動等組織内外に発信してまいりました。対内誌「あした」において、現役会員・特別会員・他青年会議所・行政などに向け2012年度の津山青年会議所の情報を発信しました。また、津山青年会議所ホームページでは、JCニュースにおいて事業はもとより、運動・活動をタイムリーに情報発信し、渉外活動においては、親睦・交流を通じてメンバーの気付きや意識の高揚の一助となるよう活動してまいりました。初めての試みとして本年度は、津山市職員の方々と津山青年会議所会員との意見交換会を企画いたしました。まちづくりを行う団体として行政と関わっていく事はお互いメリットのあることでお互いに問題点やまちづくりの考え方などを話し合い色々と感じのある会となりました。

1. JCニュースの発行
対内誌「あした」の発行

2. 1, 5, 7, 9, 12月と年間計5回の発行を行いました。LOMの運動・活動を情報発信すると共に活動記録として作成・発行しました。

3. ホームページの活用・運用

一般社団法人津山青年会議所ホームページでは、JCニュースにおいて事業はもとより、運動・活動をタイムリーに情報発信してまいりました。

4. 渉外に関する事項

メンバーに参加する意義目的をしっかりと伝え、津山青年会議所会員が一丸となり、渉外活動においては気づきを得る機会が多くあるので一人でも多くの会員に参加していただけるよう準備し各渉外活動を行いました。

- ・ 県北4JC新旧合同役員会議 (2011年11月30日 参加人数55名) 津山
- ・ 岡山ブロック協議会 出向予定者全体会議 (2011年12月18日 参加人数20名) 岡山
- ・ 京都会議 (2012年1月22~23日 参加人数35名) 京都
- ・ 社団法人宮古青年会議所歓迎会 (2012年1月23日 参加人数69名) 津山
- ・ 岡山ブロック協議会 全体会議 (2012年2月15日 参加人数32名) 岡山
- ・ 第1回県北4JC合同役員会議 (2012年2月24日 参加人数13名) 真庭
- ・ 第2回県北4JC合同役員会議 (2012年3月28日 参加人数13名) 新見
- ・ 第26回県北4JC合同例会 (2012年4月13日 参加人数34名) 新見
- ・ ASPAC香港大会 (2012年6月8~10日 参加人数8名) 香港
- ・ 第48回岡山ブロック会員大会 (2012年6月17日 参加人数36名) 倉敷
- ・ 県北4JC合同例会反省会議 (2012年6月27日 参加人数15名) 美作
- ・ 一般社団法人出雲青年会議所創立55周年 (2012年7月8日 参加人数34) 出雲
- ・ サマーコンファレンス (2012年7月20~22日 参加人数12名) 横浜
- ・ 津山青年会議所会員と津山市職員との意見交換会 (2012年8月30日 参加人数41名) 津山
- ・ 中国地区コンファレンス (2012年9月1日 参加人数30名) 米子
- ・ 津山商工会議所青年部・津山青年会議所交流会 (2012年9月5日 参加人数28名) 津山
- ・ 第61回全国会員大会 北九州大会 (2012年10月13日・14日 参加人数25名) 北九州
- ・ 第38回岡山JC・津山JC交歓会 (2012年10月15日 参加人数40名) 岡山

□決算報告

対内誌「あした」	337,071
ホームページ保守管理	52,500
サーバーレンタル料	12,600
ドメイン使用料	7,350
	<hr/>
	409,521



まちづくり委員会

委員長 有本 紳介

■事業報告

まちづくり委員会では、「笑顔の親子いっしょにあそぼ」を6月24日（日）、「笑顔は宝物～サマーキャンプin SENSUIJIMA～」を8月24日（金）～26日（日）に開催させていただきました。

「笑顔の親子いっしょにあそぼ」では、一番たくさんのことを体で吸収し、最も成長する時期の子どもとその親とのつながりが一番大切だと考え、幼児期の子どもと親を対象に、心のつながることの大切さを分かってもらい、お互いの心が強くつながることで、子どもの健全で豊かな心を育むことを目的に事業を開催しました。ニコニコタイムでは、親子のふれあいの大切さを実感してもらい、お互いの体に触れ合うことで、信頼感と安心感を感じていただきました。ホスピタリティトレーニングでは、自分勝手な子育てでなく、子どもが今何を考え、何をしてもらいたいのかを瞬時に察知できる技法を身につけていただき、良質なコミュニケーションで子どもの心を感じていただくための勉強をしました。

事業終盤では親子が本当に素敵な笑顔でお互いを見つめ、時間を共有してくれている姿が想像する親子の本当の姿でした。親子のしっかりとした心のつながりが幼児期に出来ている事で、将来子どもたちが成長していく上で、どんな環境にあろうとも強くたくましく育てくれると思います。

「笑顔は宝物～サマーキャンプin SENSUIJIMA～」では、これからの未来を担う子どもたちが、日常とは違った環境での集団行動を通じて協調性を育み、共同作業を通じて達成感、他人への感謝の心を感じるなかで、人と笑顔で接し深くふれあうことの大切さやお互いに助け合うことの大切さを学び、人のために役に立つことができる思いやりの心を持った人材になることを目的に開催させていただきました。キャンプ終盤では困っている友達に自然と笑顔で声をかけたり、手伝ってあげたりと自分だけではなく他人へも目を向けることが出来るようになりました。

この事業が子どもたちの心の中に強い印象として残り、このキャンプで学んだ笑顔で接することの大切さや人のために何かをしてあげようとする思いやりの心をこれからずっと持ち続けて行ってくれることと思います。

最後になりますが、両事業を開催するにあたりご協力いただいた美作大学短期大学部准教授 居原田洋子先生、同大学学生、鶴山塾土居勇人塾長、そしてJCメンバーに感謝を申し上げます。本当に一年間ありがとうございました。

□決算報告

笑顔の親子いっしょにあそぼ	334,643
笑顔は宝物～サマーキャンプin SENSUIJIMA～	1,517,904
講師講演	6,050
	<hr/>
	1,858,597





2020年の森プロジェクト

キャプテン 平木基裕

■事業報告

本年度、2020年の森プロジェクトでは、「2020年の森 管理育成事業」と「2020年の森の活用について」の2事業を行いました。また、創立55周年記念事業として、2020年の森において「創立55周年記念事業～2020年の森～」が開催されました。

管理育成事業は、例年3月に開催していましたが、本年度は6月に開催させていただきました。1977年以来、多くの先輩方から引き継がれた2020年の森を維持するために、特別会員と現役メンバーが力を合わせ、作業道の拡幅、管理小屋や橋への防腐剤塗り等を行い、今後2020年の森を引き継いでいくためにも意味のある作業となりました。事業の中で「先輩から現役時代の森の作業について話が聞けた。」という感想もあり、特別会員の方と現役メンバーが共に汗を流し作業を行うことで、先輩方と親睦を深めることもできました。2020年の森は自分たちの森であり、自分たちで維持・継承していくという意識が強まったと感じています。

「2020年の森の活用について」では、今後2020年の森でどのような事業が出来るかについて現役メンバーで考えました。本年度プロジェクトからは、循環型エネルギーを実現する場としての2020年の森の活用方法を提案しました。津山市役所森林課米田氏の講演では、「津山市のバイオマス事業への取組」についてご講演いただき、津山市のバイオマス事業への取組にも理解が深まりました。ディスカッションでは、メンバーが自由にアイデアを出し合い、真剣に森の活用方法を考え、多くの意見が出るディスカッションとなりました。本事業を通じて、2020年の森の公益的な活用についてメンバーの意識が高まり、今後の2020年の森の活用について新たな可能性が広がったと感じています。

本年度は、創立55周年記念事業で2020年の森に「新作業道」が設置され、今後の利用について可能性が広がったと感じています。国産材価格の低下により、事業開始当初に比べ経済林としての価値は減少していますが、多くの先輩方から引き継いだ2020年の森を、新たな価値を見出しながら時代や環境の変化に対応し方向性を見出していく事は、2020年の森の今後にとって必要不可欠であり、また青年会議所活動においても同じであると強く感じました。

最後になりましたが、2020年の森を今まで大切に守り育てていただいた特別会員の方々に感謝申し上げます。また、2020年の森の事業に参加、協力していただいた特別会員の方、現役メンバー、及び事業にご協力いただいた他団体等関係者の皆様、そして私を支えてくれたプロジェクトメンバーに感謝申し上げます。1年間本当にありがとうございました。

□決算報告

管理育成	57,000
2020年森の活用について	11,870
会議費	0
	<hr/>
	68,870

出 向 者 報 告

中国地区協議会 国際交流委員会

委 員	仲 西 祐 一
-----	---------

この委員会は3年前に釜山外語大学の協力を得て、永禮恭二先輩が委員長で始められた事業を継続して3年目の事業という事で、梶岡信吉君と私の2名で出向させていただきました。

事業では日本と韓国の学生が交互にお互いの国でホームステイを行い、お互いの国の企業を視察し研究発表を行いました。開始当初はお互い上手く打ち解けることができず、どうなるのかと心配する面もありましたが、韓国・日本とで時間を共有することで徐々に変化が見られるようになり、最終日には全員が涙を流して別れを惜しみあい両国の友好を望んでいる姿を見たときには、設営側の私たちも大きな感動をさせていただきました。

ちょうどこの事業中に韓国大統領が竹島に上陸する事態が発生しましたが、学生たちがその事で変化することは全く無く、いい刺激を共有し成長できる時間を過ごせたと思います。

暖かく学生を受け入れてくれた日韓の学生家族の方々や釜山外語大学の関係者の皆様など民間レベルでの国際交流の素晴らしさを改めて実感することができました。今後も更なる両国の友好と事業に参加した学生たちの成長を期待します。

社団法人 津山青年会議所
2012年度 会計決算報告書

貸借対照総括表

2012年7月18日現在

科 目	一般会計	2020年の森 特別会計	入会金 基金会計	特 別 基金会計	奉仕箱 基金会計	合 計
I 資産の部						
1. 流動資産						
現金預金	1,394,241	0	2,700,000	2,217,430	1,307,093	7,618,764
現金	14,556	0	0	0	0	14,556
当座預金	34,420	0	0	0	0	34,420
津山信用金庫本店	34,420	0	0	0	0	34,420
普通預金	211,192	0	1,112,769	2,217,430	0	3,541,391
中国銀行津山支店	-551,611	0	1,112,769	2,217,430	0	2,778,588
鳥取銀行津山支店	312,783	0	0	0	0	312,783
津山信用金庫本店	450,020	0	0	0	0	450,020
定期預金	1,134,073	0	1,587,231	0	1,307,093	4,028,397
津山信用金庫本店	1,134,073	0	587,231	0	1,307,093	3,028,397
鳥取銀行津山支店	0	0	1,000,000	0	0	1,000,000
立替金	525,200	0	0	0	0	525,200
未収入金	2,587,500	0	0	0	0	2,587,500
事業仮払金	0	0	0	0	0	0
貯蔵品	12,000	0	0	0	0	12,000
流動資産合計	4,518,941	0	2,700,000	2,217,430	1,307,093	10,743,464
2. 固定資産						
その他の固定資産	0	117,500	0	0	0	117,500
出資金	0	117,500	0	0	0	117,500
固定資産合計	0	117,500	0	0	0	117,500
資産合計	4,518,941	117,500	2,700,000	2,217,430	1,307,093	10,860,964
II 負債の部						
1. 流動負債						
未払金	106,250	0	0	0	0	106,250
預り金	8,956	0	0	0	0	8,956
源泉税預り金	660					660
その他預り金	8,296	0	0	0	0	8,296
仮受金	700	0	0	0	0	700
流動負債合計	115,906	0	0	0	0	115,906
2. 固定負債						
運営積立金引当金	0	0	0	0	0	0
森林組合出資引当金	0	0	0	0	0	0
固定負債合計	0	0	0	0	0	0
負債合計	115,906	0	0	0	0	115,906
III 正味財産の部						
一般正味財産	4,403,035	117,500	2,700,000	2,217,430	1,307,093	10,745,058
正味財産合計	4,403,035	117,500	2,700,000	2,217,430	1,307,093	10,745,058
負債および正味財産合計	4,518,941	117,500	2,700,000	2,217,430	1,307,093	10,860,964

収支計算総括表

2012年1月1日から2012年7月18日まで

(単位：円)

科 目	一般会計	2020年の森 特別会計	入会金 基金会計	特別 基金会計	奉仕箱 基金会計	合 計
1. 事業活動収入						
(1) 入会金収入	0	0	0	0	0	0
入会金収入	0	0	0	0	0	0
(2) 会費収入	8,737,500	0	0	0	0	8,737,500
正会員会費収入	8,737,500	0	0	0	0	8,737,500
年会費収入	8,737,500	0	0	0	0	8,737,500
(3) 事業収入	1,036,000	0	0	0	0	1,036,000
登録料収入	1,036,000	0	0	0	0	1,036,000
雑収入	0	0	0	0	0	0
(4) 寄付金収入	0	0	0	0	0	0
寄付金収入	0	0	0	0	0	0
(5) 雑収入	113,360	0	176	576	392	114,504
受取利息収入	1,044	0	176	576	392	2,188
その他雑収入	36,316	0	0	0	0	36,316
津山市民憲章事務局委託費	76,000	0	0	0	0	76,000
OB会通信費	0	0	0	0	0	0
(6) 運営積立金取崩収入	900,000	0	0	0	0	900,000
(7) 他会計からの繰入金収入	7,504	57,000	0	0	0	64,504
一般会計からの繰入金収入	0	57,000	0	0	0	57,000
特別会計からの繰入金収入	7,504	0	0	0	0	7,504
事業活動収入計	10,794,364	57,000	176	576	392	10,852,508
2. 事業活動支出						
(1) 事業費支出	3,041,317	50,640	0	0	0	3,091,957
事業費支出	985,700	50,640	0	0	0	1,036,340
会場設営費支出	0	31,990	0	0	0	31,990
人件費支出	0	30,000	0	0	0	30,000
会場費支出	0	0	0	0	0	0
設営費支出	0	1,990	0	0	0	1,990
企画・演出費支出	0	0	0	0	0	0
演出費支出	0	0	0	0	0	0
本部団関係費支出	985,700	0	0	0	0	985,700
設営費支出	985,700	0	0	0	0	985,700
渉外費支出	0	0	0	0	0	0
講師関係費支出	0	0	0	0	0	0
記念品代支出	0	0	0	0	0	0
資料作成費支出	0	0	0	0	0	0
作成費支出	0	0	0	0	0	0
保険料支出	0	9,200	0	0	0	9,200
雑費支出	0	9,450	0	0	0	9,450
委員会運営費支出	2,055,617	0	0	0	0	2,055,617

(単位：円)

科 目	一般会計	2020年の森 特別会計	入会金 基金会計	特 別 基金会計	奉仕箱 基金会計	合 計
(2) 管理費支出	2,745,988	0	0	0	0	2,745,988
会議費支出	199,500	0	0	0	0	199,500
給与手当支出	1,146,479	0	0	0	0	1,146,479
通信・発送費支出	167,071	0	0	0	0	167,071
消耗品費支出	103,627	0	0	0	0	103,627
リース料支出	9,555					
印刷製本費支出	599,500	0	0	0	0	599,500
光熱水料費支出	86,320	0	0	0	0	86,320
賃借料支出	258,058	0	0	0	0	258,058
業務委託費支出	0	0	0	0	0	0
インフォメーション関係費支出	10,500	0	0	0	0	10,500
渉外費支出	75,000	0	0	0	0	75,000
雑支出	90,378	0	0	0	0	90,378
(3) 負担金支出	904,803	0	0	0	0	904,803
J C I 負担金支出	52,628	0	0	0	0	52,628
日本 J C 負担金支出	340,000	0	0	0	0	340,000
地区協議会負担金支出	29,500	0	0	0	0	29,500
ブロック協議会負担金支出	118,000	0	0	0	0	118,000
国際協力資金支出	107,675	0	0	0	0	107,675
日本 J C 出向者負担金支出	80,000	0	0	0	0	80,000
WeBelieve購読料支出	177,000	0	0	0	0	177,000
(4) 予備費支出	0	0	0	0	0	0
(5) 運営積立金繰入金支出	0	0	0	0	0	0
(6) 他会計への繰入金支出	57,000	6,360	176	576	392	64,504
一般会計への繰入金支出	0	6,360	176	576	392	7,504
特別会計への繰入金支出	57,000	0	0	0	0	57,000
事業活動支出計	6,749,108	57,000	176	576	392	6,807,252
事業活動収支差額	4,045,256	0	0	0	0	4,045,256
当期収支差額	4,045,256	0	0	0	0	4,045,256
前期繰越収支差額	357,779	117,500	2,700,000	2,217,430	1,307,093	6,699,802
次期繰越収支差額	4,403,035	117,500	2,700,000	2,217,430	1,307,093	10,745,058

貸借対照表

2012年12月31日現在

(単位：円)

科目名	当年度
I 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	7,377,051
現金	14,216
当座預金	0
津山信用金庫本店	0
普通預金	7,362,835
中国銀行津山支店	6,241,235
鳥取銀行津山支店	312,783
津山信用金庫本店	808,817
定期預金	0
津山信用金庫本店	0
鳥取銀行津山支店	0
立替金	38,780
未収入金	71,030
事業仮払金	93,900
貯蔵品	12,000
流動資産合計	7,592,761
2. 固定資産	
その他の固定資産	117,500
出資金	117,500
固定資産合計	117,500
資産合計	7,710,261
II 負債の部	
1. 流動負債	
未払金	659,645
預り金	9,369
源泉税預り金	1,100
その他預り金	8,296
仮受金	1,538,701
流動負債合計	2,207,715
2. 固定負債	
	0
	0
固定負債合計	0
負債合計	2,207,715
III 正味財産の部	
一般正味財産	5,502,519
正味財産合計	5,502,519
負債および正味財産合計	7,710,234

正味財産増減計算書

2012年1月1日から2012年12月31日まで

科 目	金 額
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
受取入会金	500,000
受取入会金	500,000
受取会費	0
正会員受取会費	0
事業収益	2,161,480
登録料収益	1,744,980
業務受託収入	198,000
雑収入	218,500
受取補助金等	0
受取国庫補助金	0
受取地方公共団体補助金	0
受取民間補助金	0
受取寄付金	0
受取寄付金	0
募金収益	0
雑収益	375,171
受取利息	1,537
その他雑収入	143,634
津山市民憲章受託費	0
OB会通信費	230,000
経常収益計	3,036,651
(2) 経常費用	
事業費	6,132,482
会場設営費支出	0
人件費支出	0
会場費支出	0
設営費支出	0
企画・演出費支出	0
演出費支出	0
本部団関係費支出	0
設営費支出	0
渉外費支出	0
講師関係費支出	0
記念品代支出	0
資料作成費支出	0
作成費支出	0
保険料支出	0
雑費支出	0

委員会運営費支出	6,132,482
管理費	2,145,564
会議費	203,600
役員報酬	0
給料手当	1,054,995
退職給付費用	0
福利厚生費	0
旅費交通費	0
通信・発送費	112,310
消耗品費支出	157,895
リース料支出	57,330
印刷製本費支出	0
光熱水料費支出	67,230
賃借料支出	184,240
業務委託費支出	31,500
インフォメーション関係費支出	0
渉外費支出	100,000
雑支出	176,464
負担金支出	0
J C I 負担金支出	0
日本 J C 負担金支出	0
地区協議会負担金支出	0
ブロック協議会負担金支出	0
国際協力資金支出	0
日本 J C 出向者負担金支出	0
We Believe 購読料支出	0
経常費用計	8,278,046
当期経常増減額	△ 5,241,395
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	
経常外収益計	0
(2) 経常外費用	
経常外費用計	0
当期経常外増減額	0
当期一般正味財産増減額	△ 5,241,395
一般正味財産期首残高	10,743,914
一般正味財産期末残高	5,502,519
II 指定正味財産増減の部	
当期指定正味財産増減額	0
指定正味財産期首残高	0
指定正味財産期末残高	0
III 正味財産期末残高	5,502,519

財 産 目 録

2012年12月31日まで

(単位：円)

科目名	金額
I 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	7,377,051
現金	14,216
現金手許有高	0
	0
普通預金	7,362,835
中国銀行津山支店 口座番号1281389	6,241,235
鳥取銀行津山支店 口座番号67038	312,783
津山信用金庫本店 口座番号0659314	808,817
定期預金	0
	0
	0
立替金	38,780
登録料他	38,780
未収入金	71,030
社会保険料、	71,030
事業仮払金	93,900
次年度会議費等	93,900
貯蔵品	12,000
J C バッチ 8個	12,000
流動資産合計	7,592,761
2. 固定資産	
その他の固定資産	117,500
出資金	117,500
津山森林組合出資金235口	117,500
固定資産合計	117,500
資産合計	7,710,261
II 負債の部	
1. 流動負債	
未払金	659,672
ゴミ処分料、例会看板変更代	659,672
預り金	9,369
源泉所得税他	9,369
仮受金	1,538,701
2013年度新会員会費10名分他	1,538,701
流動負債合計	2,207,742
2. 固定負債	
	0
固定負債合計	0
負債合計	2,207,742
III 正味財産の部	
一般正味財産	5,502,519
正味財産合計	5,502,519
負債および正味財産合計	7,710,261

物品管理会計

資産の部	摘 要	金 額
	1. 受信用電話機セット	10,000
	2. 書庫 1. ファイリングキャビネット	19,550
	2. 事務用ロッカー	真庭JC15周年記念品
	3. 会議用ロッカー	20,000
	4. 書庫(大・上下)	24,000
	5. 書庫(大・上下)	44,000
	6. 書類収納用ロッカー(階下)	15,500
	3. 例会用パネル 3枚(含新マーク分)	70,000
	4. 例会用演台	15,000
	5. 特別会員ネームプレート	44,000
	6. 私書箱	21,500
	7. 事務机2台・椅子1脚	23,250
	8. 事務机	3,500
	9. 救急箱	1,000
	10. 断裁機	2,800
	11. JC旗用三脚	7,200
	12. 手提げ金庫	4,160
	13. 絵 画	OB会より25周年記念品
	14. テント 4張り	1982・83・85年度卒業生記念品
	15. FAX用台	5,000
	16. 書 庫	美作JC15周年記念品
	17. ホワイトボード	美作JC15周年記念品
	18. ロッカー上置戸棚 1set	92,700
	19. 会議用テーブル(1)、椅子(4)	1990年度卒業記念品
	20. レターケース	20,720
	21. テレホンスタンド	15,750
	22. 留守番電話機・留守番電話装置	37,080
	23. ADSLモデム一式	30,000
	24. デジタルビデオカメラ	1997年度卒業記念品
	25. ミノルタコピーFAX複合機	2002・2003年度卒業記念品
	26. 例会用看板・城下町宣言タペストリー	60,000
	27. 無線LAN BBルータ	7,980
	28. シュレッダー	2005年度卒業記念品
	29. 特別会員ネームプレート	2005年度卒業記念品
	30. JCIマーク入りLOM旗 一式	2006年度卒業記念品
	31. JCIマーク入り法被一式	2005・2006年度卒業記念品
	32. 会議用パイプ椅子 6脚	20,317
	33. LOM会計ソフト(バランスマンライト)	68,000
	34. リソグラフ印刷機 RZ570 1台	283,500
	35. 会議用長テーブル 3台	2007年度卒業記念品
	36. フロントシアPC・周辺機器一式	2007・2008年度卒業記念品
	37. PC用外付ハードディスク	2009年度卒業記念品
	38. プロジェクター用スクリーン	2009年度卒業記念品
	39. キヤノンレーザープリンターLBP3310	2010年度卒業記念品
	40. テント 1張り	2011年度卒業記念品
	41. 書庫 4台	2012年度卒業記念品
物品管理会計の資産取得額の合計		966,507
2012年度取得 書庫 4台		2012年度卒業記念品

一般社団法人 津山青年会議所

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

当法人は、平成24年7月5日に「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律」第45条に基づき一般社団法人の認可を受け、平成24年7月19日に一般社団法人への移行登記を行った。そのため当期は平成24年7月19日から平成24年12月31日までを当法人の認可移行最初の会計年度とする決算を行っている。

2. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品は、仕入先出法による原価法によっている。

(2) 消費税等の会計処理

税込方式による。

監査報告書

一般社団法人 津山青年会議所
2012年度理事長

村上雅人 殿

2013年1月15日
一般社団法人 津山青年会議所

監事 妹尾 征



監事 田村 泰庸



私たちは、2012年1月1日から2012年12月31日までの会計年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1. 監査方法の概要

(1) 会計監査について

帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて、計算書類の正確性を検討した。

(2) 業務方法について

理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴衆し関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査報告

(1) 貸借対照表・収支計算書・正味財産増減計算書及び財産目録は、会計帳簿の金額と一致し、法人の収支状況及び、財産状態を正しく表示しているものと認められる。

(2) 事業報告書の内容は真実であると認められる。

(3) 理事の職務執行に関する不正行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事項はないと認める。

3. 監事講評

2012年度は、村上理事長のもと「志操躬行」～今この一瞬を駆け抜けろ生きるとは行動することだ～をスローガンに掲げて事業を展開されました。

創立55周年を迎える中、会員指導力研修委員会、広報渉外委員会、まちづくり委員会、まつりプロジェクト、2020年の森プロジェクトでは、理事長所信に基づき記念事業とともに津山J.Cのさらなる飛躍と津山のまちづくりに寄与する運動が達成されていたと思います。

創立55周年ビジョン策定実行委員会では中期ビジョンの確立をすることで今後の津山J.Cが進むべき方向性を示すことが出来たと思います。また、今年作成された総踊り「和っしょい！津山」についてはその勢いのままに津山地域に広がっていくことと思います。

2012年は（一社）津山青年会議所の会員の一致団結とまちづくりに対する勢いを感じることができた一年でありました。その勢いのままに益々のご活躍と発展を期待して監事講評とさせていただきます。

2013年度

事業計画
一般会計予算



一般社団法人 津山青年会議所
第56代理事長 光岡宏文

年頭所感

<基本理念>

～我々が‘つやま’に活力を与える～

1949年、戦後の荒廃したまちを目の前にして、「新日本の再建は我々青年の仕事である」との使命感から日本に青年会議所が立ち上がりました。その運動が全国に伝播していく中、1958年この‘つやま’にも先輩方の確固たる想いのもと津山青年会議所が誕生しました。それから56年目となる本年、我々は先輩方の創始の想いを今一度見つめ直すと共にしっかりと継承し、60年、70年、100年と続いていく組織とする為、力強く運動していかなければなりません。

今、日本は先行きの見えない経済の低迷や政治の混乱に伴い全体の活気が薄らぐと共に、人の心は荒廃し、世の中にはびこる倫理観の無さが、悪質な犯罪や事件を生み出しています。こうしたモラルの崩壊は、未来を担う子どもたちに一層顕著にあらわれ、学校でのいじめ問題はさらに深刻化しています。豊かさや便利さを追い求め、経済成長ばかりを追求してきたことで、人から物へ重点が置かれてきた戦後社会の矛盾が一気に吹き出しているように感じられます。また、竹島や尖閣諸島をはじめとする領土・領海問題は看過できない問題であり、日本の主権が脅かされている現状を打破する為にも、国民一人ひとりがしっかりと過去や現在を学び、知識と意識を高めることが必要であります。その上で国、そして地域に愛着をもつと共に、青年経済人として鳥瞰の視野をもって未来に向けて進んでいくことが重要です。

2011年3月に起こった東日本大震災はかつてない規模の自然災害であり、それに伴って発生した原子力発電所事故は日本を未曾有の事態へと追い込みました。復旧活動は少しずつ進んでいるものの、被災地には未だ震災がれきが積み上げられており、本当の復興は未だ遠き道のりと言わざるを得ません。そして、我々はこの大震災に際し、人を思いやる心、人と人のつながりの大切さ、地域におけるコミュニティの重要性などを改めて考えさせられました。

青年会議所は「修練・奉仕・友情」の三信条を通して、社会と個人の開発という恒久の目的を抱き、「明るい豊かな社会」の実現に向け、それぞれの地域に根ざした運動を展開して参りました。この混沌とした時代だからこそ、我々はしっかりとベクトルを同じくし、個人の自立性と社会の公共性が生き生きと協和する確かな時代を築いていかなければなりません。自らを律し、能動的に社会参画できる人、率先して行動できる人、生き抜く力をもった人を創ると共に、様々な人とのコミュニケーションを通じて互いの存在を認め合い、他人を思いやる心をもった人、生かされていることへの感謝を感じられる人を創っていくこ

とが必要です。我々は「自立」と「共助」の調和がとれた社会の創造へ向けて邁進して参ります。

私たちの暮らす津山圏域は、中国山地の美しい山並みに囲まれ、気候風土にも恵まれた地域です。また、美作国建国1300年を迎え、城下町としては津山城を中心に栄えた歴史あるまちであり、自然と歴史そして都市が融合するすばらしい地域です。この地域において我々は物心ともに豊かに暮らせる社会の実現のため、人と人とのつながりを大事にし、また、より多くの人から活力を引き出し、まちの活性化を図っていくことが大切であると考えます。その為には、自分たちのまちをお互いに協力し合って良くしていこうという想いや情熱をもった人を育て、その人と人をつなげ、大きなまちづくりの和として広げていかなければなりません。「自分たちのまちは自分たちで創る」という気概をもって、地域の魅力を再発見し、誇りと愛着を持てるまちを創造して参ります。

2013年は一般社団法人として新たな一步を踏み出す年であり、また、中国地区コンファレンスの開催や美作国建国1300年など、様々なことに取り組む年であります。この一年を乗り越えるためには、津山青年会議所メンバーが地域のオピニオンリーダーとしてより一層志を高くもち、相集い、仲良く力を合わせられるような組織の一体感が必要であると考えます。

本年度、津山青年会議所は『明るい豊かな社会』の実現に向けて、メンバー丸となって全力で運動を展開して参ります。また、メンバーの英知と勇氣と情熱を集め、共に考え、共に汗を流し、共に感動できるような「一体感と勢いのある、真に地域に必要とされるJC」を目指して、心一つに力強く運動して参ります。

●情熱溢れるひとづくり

我々は青年経済人としてこの地域を盛り上げるにあたり、率先してものごとに取り組む勇氣、全力で取り組む勇氣を持たなければいけません。日本人は一步引いて考え、他人の目を気にしてしまいがちですが、それを打ち破る勇氣を得られるのがこの青年会議所だと考えます。我々は青年経済人として、地域のオピニオンリーダーとして率先して行動する勇氣、全力で取り組む勇氣を持ち、「我々が『つやま』を導いていく!」、「我々が『つやま』に活力を与える!」という気概をもって、積極果敢に行動していきましょう。

『導いてくれる人を待つてはいけません、あなたが人々を導いていくのです』 マザー・テレサ

●活力溢れるまちづくり

活力溢れるまちをつくるために、地域の'たから'を活用し、地域の魅力を再発見しながら、誇りと愛着をもてる地域をつくらなければいけません。我々には創立以来55年の時を経て築かれた歴史・伝統・信頼とともに、すばらしいネットワークがあります。地域、他団体や先輩方とのつながりをより強め、この素晴らしい財産を最大限活用して、地域社会一体となって盛り上げていくことで、笑顔と活気溢れる地域となります。そして我々も真に地域に必要とされる団体になりましょう。

『私たちの人生は、私たちが費やした努力だけの価値がある』 フランソワ・モーリアック

●勢いあるJCづくり

仕事も価値観もまったく違う人が出逢い、共に汗を流し、共に悩み、時にはぶつかり、それでも助け合って目的を達成することで感動と絆が生まれる…その繰り返しができる場がJCであり、それが確固たる人間関係そして組織の一体感につながります。出逢いを大切に、厳しさと楽しさを兼ね備え、やる時は全力でやる、楽しむ時は全力で楽しむ、メリハリをもって物事に取り組むことで充実したJCライフとなり、それが『つやま』に活力を与える勢いあるJCにつながると考えています。

『君には二つの生き方がある。奇跡など起こらないと信じて生きるか、すべてが奇跡だと信じて生きるかだ』 アルベルト・アインシュタイン

●会員拡大について

人口の推移に昨今の経済情勢も加わり、会員の減少は日本各地の青年会議所で大きな問題となっているところであります。しかしながら津山青年会議所において近年多くの新会員が入会し、生き生きと活躍すると共に、津山青年会議所に活力を与えています。そうした状況を見る限り、一概に人口の推移や経済情勢だけが会員減少の理由とは考えられません。全ては我々がいかに津山青年会議所の魅力を発信できるか

にかかっています。我々が一体となり全力で物事に取り組む姿勢を見せることで、人間として成長できる場、地域を大きく動かすことができる場、本当の仲間 が得られる場である青年会議所の魅力を伝えられると信じています。常に仲間の和を広げる意識をもって行動しましょう。

スローガン

我々が‘つやま’に活力を与える
今こそ和っしょい!
～心一つに、力強く盛り上げていこう～

〈基本方針〉

一般社団法人として新たな一歩を踏み出す本年、また中国地区コンファレンス開催や美作国建国1300年を迎える本年を力強く盛り上げていくために、一人ひとりが津山青年会議所、またこの地域に誇りと愛着をもって、津山青年会議所55年の歴史・伝統・信頼を継承しつつ、地域の方や他団体、先輩方をはじめこれまで培ったネットワークをより強め、最大限活用しながら、「明るい豊かな社会」の実現に向け、真に必要なとされる団体となるべく、心を一つにして力強く運動してまいります。

〈運動方針〉

- ・情熱溢れるひとづくり
(地域に誇りと愛着をもち積極果敢に行動できるひとづくり)
- ・活力溢れるまちづくり
(地域社会がひとつになり笑顔と活気溢れるまちづくり)
- ・勢いあるJCづくり
(厳しさと楽しさを兼ね備えた一体感あるJCづくり)

2013年度 理事・役員名簿

理事	長	光岡宏文	
直前理事	長	村上雅人	(岡山ブロック協議会 監査担当役員)
理事	顧問	佐野彰彦	
副理事	長	全本諦令	(ビジョン推進会議 議長)
副理事	長	長谷川毅	(室担当)
副理事	長	河原淳	(中国地区コンファレンス実行委員会 実行委員長)
総務拡大委員会委員	長	西口元庸	(岡山ブロック協議会総務委員長連絡会議 議員)
専務理事	長	土居大介	
ひとづくり室室長	長	須江健治	(公益社団法人日本青年会議所 復興支援委員会)
まちづくり室室長	長	山本幸治	
地域交流室室長	長	龍門慶輝	(美作国建国1300年プロジェクトキャプテン)
事務局局長	長	柳澤雅人	
ひとづくり室副室長	長	有本淳二	(中国地区協議会 国家主権確立委員会 委員)
まちづくり室副室長	長	有本紳介	
地域交流室副室長	長	鳥越俊之	(まつりプロジェクトキャプテン)
会員開発委員会委員長	長	菅田拓平	
指導力開発委員会委員長	長	高橋拓己	(岡山ブロック協議会 市民の未来選択委員会 委員)
広報渉外委員会委員長	長	脇優太	
まちづくり委員会委員長	長	福田邦夫	
心の教育推進委員会委員長	長	橋本安弘	
2020年の森プロジェクトキャプテン		寺本健志	

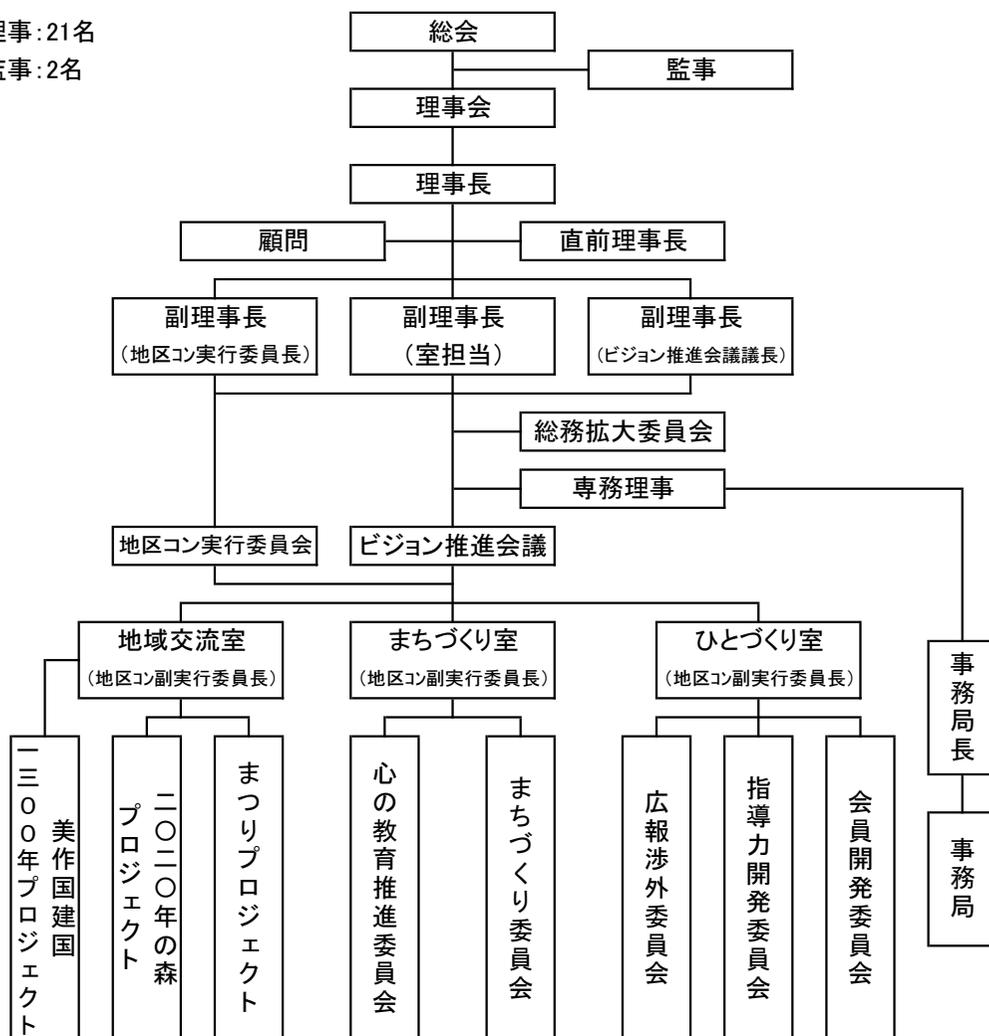
監	事	田村泰庸	
監	事	仲西祐一	(中国地区協議会 国家主権確立委員会 委員)

(常任オブザーバー)

日本青年会議所		鈴木大介	(復興支援委員会 委員)
日本青年会議所		中川洋平	(未来の企業創造委員会 委員)
岡山ブロック協議会		岸本洋平	(監査担当役員 幹事)
岡山ブロック協議会		平井伸明	(監査担当役員 幹事)
岡山ブロック協議会		保田知己	(監査担当役員 幹事)
岡山ブロック協議会		小林諭卓	(総務委員長連絡会議 議員)
岡山ブロック協議会		北村暢宏	(輝ける地域再生委員会 副委員長)
岡山ブロック協議会		岡章	(輝ける地域再生委員会 委員)
岡山ブロック協議会		中川洋平	(勇壮なるリーダー増強委員会 委員)
岡山ブロック協議会		河野雅樹	(勇壮なるリーダー増強委員会 委員)
岡山ブロック協議会		石原雅志	(市民の未来選択委員会 委員)

2013年 (一社)津山青年会議所 組織図

理事:21名
監事:2名



※ビジョン推進会議議長は副理事長が兼務し、副議長は室担当副理事長が兼務する。

※中国地区コンファレンス実行委員会実行委員長は副理事長1名が兼務し室長3名を副実行委員長とする。

※中国地区コンファレンス実行委員会幹事は事務局長1名、副室長3名が兼務する。各部会の部長は委員長が兼務し委員会構成メンバーと共に活動する。

※美作国建国1300年プロジェクトは地域交流室長がキャプテンとなり、美作国建国1300年実行委員会への参画及び真庭JC、美作JCとの調整にあたる。

2013年（一社）津山青年会議所 所属表

理事長 光岡 宏文	高前理事長 村上 雅人	理事・顧問 佐野 彰彦	副理事長 全本 諭令	副理事長 長谷川 毅	副理事長 河原 淳	監事 田村 泰庸	監事 仲西 祐一
専務理事 土居 大介	委員会名 総務拡大委員会	理事・委員長 西口 元庸	幹事 柳澤 雅人	委員 光岡・全本・長谷川・河原・土居・須江(健)・山本(幸)・龍門			
事務局長 柳澤 雅人	中国地区コンファレンス 実行委員会	実行委員長 河原 淳	副実行委員長 須江(健)・山本(幸)・龍門	幹事 柳澤・有本(淳)・有本(紳)・鳥越			
ひとづくり室	理事・室長 須江 健治	理事・委員長 菅田 拓平	副委員長 未澤	幹事 山本(俊)	委員 北村・鈴木・廣田・片田		
	理事・副室長 有本 淳二	理事・委員長 高橋 拓己	副委員長 植月	幹事 河野	委員 山本(真)・山本(竜)・石原・岡・武本		
		理事・委員長 脇 慶太	副委員長 福島	幹事 小林	委員 寺本・平井・早瀬・松本		
まちづくり室	理事・室長 山本 幸治	理事・委員長 福田 邦夫	副委員長 須江(庸)	幹事 金田	委員 土井・中川・奥田・若林・尾島・森山・眞木		
	理事・副室長 有本 紳介	理事・委員長 橋本 安弘	副委員長 小笠原	幹事 山形	委員 池田・梶岡・岸本・保田・片山・田邊・西村		
地域交流室	理事・室長 龍門 慶輝	キャプテン 龍門 慶輝	副キャプテン 鳥越	幹事 鈴木	プロジェクトメンバー 有本(淳)・有本(紳)・田村・池田・石原・奥田・岸本・平井		
	理事・副室長 鳥越 俊之	キャプテン 鳥越 俊之	副キャプテン 山本(竜)	幹事 廣田	プロジェクトメンバー 佐野・梶岡・仲西・植月・小笠原・岡・金田・河野・平井・保田・山本(俊)・尾島・片田・片山・田邊・武本・西村・早瀬・眞木・松本・森山		
		理事・キャプテン 寺本 健志	副キャプテン 北村	幹事 岸本	プロジェクトメンバー 中川・池田・仲西・奥田・金田・山本(俊)・山形		
(公社)日本青年会議所 復興支援委員会 須江(健)・鈴木		中国地区協議会 国家主権確立委員会 有本(紳)・仲西		一般社団法人 津山青年会議所 〒708-0022 岡山県津山市山下30-9 (津山商工会館内4階) TEL: (0868)22-6713 FAX: (0868)25-1415			
岡山ブロック協議会		輝ける地域再生委員会 北村・岡		市民の未来選択委員会 高橋・石原			
村上		事務局長 須江(健)		勇壮なリーダー増強委員会 中川・河野			
津山市民憲章 推進協議会		事務局長 有本(淳)		長谷川・柳澤・菅田・高橋・脇			

2013年度 (一社)津山青年会議所新会員名簿

区分	氏 名	勤 務 先	役 職
新 加 入 者	尾 島 佑 輔	津山信用金庫	渉外課 渉外主任
	片 田 恭 裕	(有)電気設備カタダ	取 締 役
	片 山 英 之	(有)片山印刷所	代表取締役社長
	武 本 貴 之	鶴山運送株式会社	
	田 邊 久 人	(株)タナベ	専 務 取 締 役
	西 村 憲 明	デザイナー	
	早 瀬 久 善	(株)早瀬食品	
	眞 木 祐 治	(有)マキ保険	取 締 役
	松 本 宏 光	津山市役所	主 事
	森 山 裕 一	森山建設(株)	

以上10名

2013年度 (一社)津山青年会議所 各室及び委員会・プロジェクト事業計画

月 日	内 容
総務拡大委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事務局の管理・運営及び掌握（専務理事への協力） 2. 総会の運営及び総会資料の蒐集並びに理事会及び例会の議事録の作成及び保管・管理 3. 褒賞及び表彰に関する事項 4. 定款に関する事項 5. (一社)津山青年会議所の組織に関する事項 6. 会員拡大の実施推進 7. 入会、休会及び希望退会の受付並びに自動退会及び除名の取り扱い（専務理事への協力） 8. 慶弔に関する事項 9. 会員名簿の作成及び保管・管理 10. 公益法人制度に関する事項 11. 事務局運営に関する事項 12. 津山市民憲章推進協議会への参画 13. 「鶴山を考える会」への参画 14. 中国地区コンファレンス実行委員会への参画 15. 他の委員会に属さない事項
ビジョン推進会議	<ol style="list-style-type: none"> 1. (一社)津山青年会議所の目的達成のための計画の統括管理及び実施推進 2. ビジョンの推進 3. 事業計画及び事業予算の検討調整 4. 各室間の連絡調整
中国地区コンファレンス 実行委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 中国地区コンファレンスの統括・管理・運営 2. その他中国地区コンファレンスに関する一切の事項 3. ビジョン推進会議への参画
ひとつくり室	<ol style="list-style-type: none"> 1. (一社)津山青年会議所の目的達成のための計画の立案及び実施推進 2. 人間力開発の啓発に関する事項 3. (一社)津山青年会議所ホームページの管理・更新 4. 地域・行政・他団体・各地J Cとの交流及び情報交換の企画推進 5. 津山市民憲章推進協議会への参画 6. 会員拡大の実施推進 7. ひとつくり室に所属する各委員会の企画調整 8. ビジョン推進会議への参画 9. 中国地区コンファレンス実行委員会への参画 10. 美作国建国1300年実行委員会への参画
まちづくり室	<ol style="list-style-type: none"> 1. (一社)津山青年会議所の目的達成のための計画の立案及び実施推進 2. 津山圏域の歴史・伝統・文化に関する事項 3. 魅力ある地域力創造に関する事項 4. 国際化に関する諸問題への対応 5. 「特定非営利活動法人つやまNPO支援センター」への参画 6. 津山市民憲章推進協議会への参画 7. 会員拡大の実施推進 8. まちづくり室に所属する委員会の企画調整 9. ビジョン推進会議への参画 10. 中国地区コンファレンス実行委員会への参画 11. 美作国建国1300年実行委員会への参画
地域交流室	<ol style="list-style-type: none"> 1. (一社)津山青年会議所の目的達成のための計画の立案及び実施推進 2. 地域・行政・他団体・各地J Cとの交流及び情報交換の実施推進 3. 美作国建国1300年実行委員会への参画 4. 「鶴山を考える会」への参画 5. 津山市民憲章推進協議会への参画 6. 会員拡大の実施推進 7. 地域交流室に所属するプロジェクトの企画調整 8. ビジョン推進会議への参画 9. 中国地区コンファレンス実行委員会への参画
美作国 建国1300年 プロジェクト	<ol style="list-style-type: none"> 1. 美作国建国1300年実行委員会への参画 2. 美作国建国1300年に関して真庭J C・美作J Cとの情報交換及び事業の推進 3. 地域交流室の計画に基づく事業の推進 4. ビジョン推進会議への参画

月 日	内 容
まつりプロジェクト	<ol style="list-style-type: none"> 1. 津山のまつりへの参画 2. 音楽祭に関する諸問題の調査研究及び事業の推進 3. 地域交流室の計画に基づく事業の推進 4. ビジョン推進会議への参画
会員開発委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 月例会の企画・運営統括及び通知の発行 2. 会員開発及び会員拡大に関する事項 3. 会員及び委員会の表彰具申 4. 会員相互の友愛親睦及び体育厚生 5. その他会員に関する一切の事項 6. ひとつづくり室の計画に基づく事業の推進 7. 日本J C、中国地区協議会及び岡山ブロック協議会の委員会に関する事項 8. ビジョン推進会議への参画 9. 中国地区コンファレンス実行委員会への参画及び企画・運営
指導力開発委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 会員の指導力に関する研究及び推進 2. 経営者としての会員の研修及び開発に関する事項 3. 新会員の研修に関する事項 4. 会員の研修に関する事項 5. ひとつづくり室の計画に基づく事業の推進 6. 月例会の企画・運営 7. 日本J C、中国地区協議会及び岡山ブロック協議会の委員会に関する事項 8. ビジョン推進会議への参画 9. 中国地区コンファレンス実行委員会への参画及び企画・運営
広報渉外委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域社会への公聴広報活動 2. J Cニュースの発行 3. (一社)津山青年会議所ホームページの活用・運用 4. 日本J C及び各地J Cとの意見情報の交換及び蒐集 5. 出版物の整理及び保管 6. マスコミ関係者及び記者クラブとの連絡及びPR推進 7. 渉外に関する事項 8. 対外的行事に関する会合の連絡及び通知の発行 9. 各地J Cの行事に関するメンバー参加の掌握 10. 慶弔に関する事項(総務拡大委員長への協力) 11. ひとつづくり室の計画に基づく事業の推進 12. 月例会の企画・運営 13. 日本J C、中国地区協議会及び岡山ブロック協議会の委員会に関する事項 14. ビジョン推進会議への参画 15. 中国地区コンファレンス実行委員会への参画及び企画・運営
まちづくり委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域文化創造のための諸問題の調査研究及び事業の推進 2. 地域の発展に関する事業の推進 3. まちづくり室の計画に基づく事業の推進 4. 月例会の企画・運営 5. 日本J C、中国地区協議会及び岡山ブロック協議会の委員会に関する事項 6. ビジョン推進会議への参画 7. 中国地区コンファレンス実行委員会への参画及び企画・運営
心の教育推進委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 青少年、教育、福祉等の諸問題の調査研究及び事業の推進 2. 地域社会の活性化に貢献できる地域人材の育成に関する事項 3. まちづくり室の計画に基づく事業の推進 4. 月例会の企画・運営 5. 日本J C、中国地区協議会及び岡山ブロック協議会の委員会に関する事項 6. ビジョン推進会議への参画 7. 中国地区コンファレンス実行委員会への参画及び企画・運営
2020年の森プロジェクト	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2020年の森に関するビジョンの調査研究及び事業の推進 2. 2020年の森の管理・育成 3. 森の範囲の確認 4. 管理小屋・橋・広場の維持・管理 5. 作業道の管理 6. タイムカプセルの管理 7. 鎌・巻物の管理 8. 地域交流室の計画に基づく事業の推進 9. ビジョン推進会議への参画

一般社団法人 津山青年会議所 収支予算書

自2013年1月1日 至2013年12月31日

(単位：円)

科目	平成25年度	備考
I 一般正味財産増減の部		
1. 経常増減の部		
(1) 経常収益		
受取入会金	250,000	
受取入会金	250,000	50,000 X 5名
受取会費	8,850,000	
正会員受取会費	8,850,000	150,000 X 59名
事業収益	0	
登録料収益	0	
業務受託収入	0	
雑収入	0	
受取補助金等	0	
受取国庫補助金	0	
受取地方公共団体補助金	0	
受取民間補助金	0	
受取寄付金	200,000	
受取寄付金	200,000	JCボックス
募金収益	0	
雑収益	527,100	
受取利息	3,100	
その他雑収入	0	
津山市民憲章受託費	264,000	22,000 X 12ヶ月
O B会通信費	260,000	2,000 X 130名
経常収益計	9,827,100	
(2) 経常費用		
事業費	4,982,021	
会場設営費支出	194,660	
人件費支出	30,000	
会場費支出	87,600	
設営費支出	77,060	
企画・演出費支出	819,445	
演出費支出	819,445	
本部団関係費支出	984,000	
設営費支出	984,000	登録料
渉外費支出	0	
講師関係費支出	55,487	
記念品代支出	55,487	
資料作成費支出	359,360	
作成費支出	359,360	
保険料支出	118,677	
雑費支出	27,630	
委員会運営費支出	3,242,207	

科目	平成25年度	備考
管理費	4,874,517	
会議費	91,000	理事会、次年度理事会
役員報酬	0	
給料手当	2,370,000	
退職給付費用	0	
福利厚生費	0	
旅費交通費	0	
通信・発送費	400,000	
消耗品費支出	150,000	
リース料支出	180,000	
印刷製本費支出	599,500	
光熱水料費支出	168,324	
賃借料支出	442,193	
業務委託費支出	31,500	会計アドバイスコ
インフォメーション関係費支出	10,000	津山朝日新聞社
渉外費支出	302,000	
雑支出	130,000	
負担金支出	891,175	
J C I 負担金支出	59,000	
日本 J C 負担金支出	340,000	
地区協議会負担金支出	29,500	
ブロック協議会負担金支出	118,000	
国際協力資金支出	107,675	
日本 J C 出向者負担金支出	60,000	
We Believe購読料支出	177,000	
経常費用計	10,747,713	
当期経常増減額	△ 920,613	
2. 経常外増減の部		
(1) 経常外収益	0	
経常外収益計		
(2) 経常外費用	0	
経常外費用計	0	
当期経常外増減額	0	
当期一般正味財産増減額	△ 920,613	
一般正味財産期首残高	5,502,519	
一般正味財産期末残高	4,581,906	
II 指定正味財産増減の部		
当期指定正味財産増減額	0	
指定正味財産期首残高	0	
指定正味財産期末残高	0	
III 正味財産残高	4,581,906	